ニッケイ新聞
JORNAL NIKKEY SHIMBUN
DIRETOR PRESIDENTE
RAUL M. TAKAKI
JORNALISTA RESPONSÁVEL
TAKAO MIYAGUI
Rua da Glória, 322 - Liberdade
CEP 01510-000 - São Paulo - SP - Brasil
Tel (11) 3340-6060 | www.nikkeyshimbun.jp

日韓外相、輸出規制で応酬
徴用工も、会談平行線

【バンコク共同＝江藤友治】河野太郎外相は1日、訪問先のタイの首都バンコクで韓国の康京和外相と会談した。康氏は、日本が発動した半導体材料の輸出規制強化の撤回を要求。安全保障上の輸出管理で優遇措置を取る「ホワイト国」から韓国を除外する政令改正の中止も求めた。河野氏は安全保障を目的とした正当な措置だと説明したほか、元徴用工問題の解決策も重ねて要求し、応酬になった。主張は平行線で対立は深まる一方だ。

日韓外相会談は、日本が7月4日に半導体材料3品目の韓国向け輸出管理を厳格化して以降、初めて。日本は「ホワイト国」から韓国を除外する政令改正を2日にも閣議決定する方向で調整している。

ポンペオ米国務長官は2日に日韓外相と行う3カ国会談で、対立状態の解消を促す意向。日本側の閣議決定を先送りし、日韓間で交渉するとの仲介案を正式に示す可能性がある。

会談で河野氏は、元徴用工訴訟で賠償を命じられた日本企業に実害が及ばない解決策を重ねて要求した。康氏は輸出規制強化措置の撤回と、「ホワイト国」から除外する手続きの取りやめを迫った。

両氏は、短距離弾道ミサイルを相次いで発射した北朝鮮への対応についても意見交換し、引き続き緊密に連携していくことで一致した。

日本は元徴用工問題で日韓請求権協定に基づく仲裁委員会の開催を求めたが、韓国は7月18日の期限までに回答せず、協定が定める紛争処理手続きは具体化しなかった。

韓国は、日本による輸出規制強化と「ホワイト国」からの除外方針を元徴用工問題に関連した報復措置と捉え、反発を強めている。

会談前に韓国の康京和外相（右）と握手する河野外相＝1日、バンコク（共同）

河野氏は正当性主張

米、10年半ぶり利下げ
FRB、貿易摩擦を懸念
0・25％、緩和へ転換

【ワシントン共同＝藤原章博】米国の中央銀行に当たる連邦準備制度理事会（FRB）は7月31日、米中貿易摩擦による世界経済の減速や物価の停滞を懸念し、政策金利の引き下げを決めた。利下げはリーマン・ショック後に事実上のゼロ金利政策に踏み切った2008年12月以来、10年7カ月ぶり。下げ幅は0・25％。金融政策を緩和方向に明確に転換し、主要中銀が金融緩和で足並みをそろえた。

金融引き締め効果がある米国債など保有資産の縮小も、9月末に予定した停止時期を2カ月前倒しして終了する。トランプ米大統領が利下げとともに即時終了を求めていた。

パウエル議長は記者会見で、堅調な米経済を踏まえて「長期にわたる利下げの始まりではない」と述べた。早期の追加利下げに慎重な姿勢を示しながらも、景気が悪化すれば「適切に行動する」と含みを残した。

米経済は拡大局面が続き、過去最長の丸10年を超える見通しだ。その一方、欧州や中国は成長鈍化が鮮明で、企業業績の悪化を招く貿易摩擦も「米経済に大きな影響を及ぼす」と指摘。利下げは先行きの不確実性に対応した「予防的」措置と説明した。

主要中銀では、欧州中央銀行（ECB）が9月にも利下げを実施する構えだ。相対的に円高圧力が強まり、日本の輸出企業の収益を圧迫する恐れがある。日銀は緩和強化に前向きな姿勢だが、政策余地に乏しく難しい対応を迫られそうだ。

FRBは31日まで開いた連邦公開市場委員会（FOMC）で、主要政策金利を年2・0～2・25％とし、8月1日から適用する。政策決定は10人のうち2人が金利の据え置きを主張し反対した。

パウエル氏は会見で、トランプ氏の利下げ要求など政治圧力に関し「政治的な考慮はしない」と述べ、政策決定に影響していないとの認識を改めて強調した。

芸舞妓ら夏のあいさつ
京都・祇園で「八朔」

【共同】京都市東山区の祇園で1日、芸妓や舞妓が芸事の師匠やお茶屋にあいさつに回る夏の恒例行事「八朔」が行われた。

芸舞妓らが黒紋付きの礼装で、人間国宝の京舞井上流家元の五世井上八千代さん宅などを訪れ「おめでとうさんどす」「おたのもうします」とあいさつした。汗がにじむ暑さの中、路地に舞妓らが現れると、集まった大勢の見物客が一斉にシャッターを切った。

八朔は旧暦の8月1日を指し、京都の花街では、日頃の感謝を込めてお礼や贈り物をする習わしが今も続いている。

京都・祇園の恒例行事「八朔」で、あいさつ回りをする舞妓＝1日午前（共同）

民泊規制、都市部は支持
独自条例、生活の影響懸念

【共同】参院選後初めての臨時国会が1日、召集され、れいわ新選組から初当選した重度障害者の木村英子氏（54）ら重い身体障害の当事者や元パラリンピック選手の議員が初登院した。木村氏は「期待と不安半々です」と緊張した表情で意気込みを語った。当事者の声が国会でどのように生かされるかが注目される。

木村氏は午前9時ごろ車で国会に到着。正門前には100人以上の支援者が待ち受け、歓声を上げた。支援者の中には車いす利用者や白杖を使う視覚障害者の姿も。

木村氏は「（バリアフリー化など）国会に配慮してもらったことは感謝している。ただ、障害者全体の就労はまだまだだ。がんばって取り組んでいきたい」と意欲を見せ、介助者に付き添われながら仮設のスロープを通って国会議事堂内に入った。

同じくれいわから初当選した難病患者の舩後靖彦氏（61）は黒いスーツ姿。声を発せないため、介助者が文字盤を使いながら舩後氏の言葉を読み取る形で「皆さまのご期待に応えられるようになります」と語った。介助者が代わりに登院ボタンを押すと、自身の名前が点灯するのを感慨深げに見つめた。

午前の参院本会議で、2人は本会議場の出入り口に近い、改修された議席に車いすで出席。議長選挙が始まると、それぞれ介助者が両議員に顔を近づけ、意思を確認して代理で記入し、投票した。

本会議後、2人は会見し、木村氏は「全てが驚きだった。勉強させてもらいながら（障害者制度を）変えていきたい」と感想を述べた。

冬季パラリンピック元選手で国民民主党の横沢高徳氏（47）＝岩手選挙区＝も車いすで初登院。横沢氏は「（東京）五輪、パラリンピックが開催されるので、バリアフリー先進国と言われるようがんばりたい」と話した。

バリアフリー国会召集
れいわ2人が初登院

【共同】7月の参院選を受けた第199臨時国会が1日、召集された。重い身体障害があるれいわ新選組の新人議員2人が初登院。受け入れのため、設備改修などのバリアフリー化を進める国会が開幕した。午前の参院本会議で、新議長に自民党の山東昭子元副議長を選出。副議長には立憲民主党の小川敏夫元法相が選ばれた。会期は5日までの5日間で、法案の審議は実施しない。与野党の本格的な論戦は秋の臨時国会で行われる。

参院の女性議長は2004年に就任した扇千景氏に次いで2人目。選出後、山東氏は本会議で「公正無私を旨とし、社会情勢に応じ思い切った改革をしながら、言論の府として役割を果たすよう尽くしたい」と強調した。参院の女性議員は56人で過去最多となった。

1日午後には5月の皇位継承後、初めて天皇陛下を迎えて参院本会議場で開会式を開く。5日に閉会中審査のための手続きを行って閉会する段取りだ。

難病「筋萎縮性側索硬化症（ALS）」患者の舩後靖彦（61）、重度障害者の木村英子（54）両議員が当選したことを受け、参院は手足を自由に動かすことが困難な2人の活動に対応する環境整備を進めている。木村氏は「期待と不安半々です」と、議員活動への意気込みを語った。

れいわの山本太郎代表は記者会見し「国会内のバリアフリー化では、与党に引っ張ってもらった」と謝意を表明。同時に「（2人が希望する）厚生労働委員会で活躍の場を与えてもらえないか」と委員会の割り当てについても配慮を求めた。

大型の車いすでも利用できるよう本会議場の議席を改修し、初登院に用いられる中央玄関には仮設のスロープを用意した。本会議場には介助者が付き添い、正副議長選挙の記名投票では介助者が代筆した投票用紙が、参院事務職員に手渡された。議員活動中の介助費についても、参院が当面負担することを決めている。

れいわ新選組の山本代表の街頭記者会見に集まった人たち＝1日夜、東京・新宿駅前（共同）

当事者の声、国会へ
重度障害者や元パラ選手

【共同】日本政策投資銀行が1日発表した設備投資計画調査によると、大企業の2019年度の国内設備投資額は前年度実績比11・5％増の21兆5745億円となる見通しになった。8年連続の増加となる。自動車の電動化に向けた生産増強や、人手不足に対応するための省力化設備の導入などが寄与する。駅前開発などの不動産投資も好調だった。

調査の性質として、投資額が実行段階で下方修正される傾向がある。米中貿易摩擦など世界経済の先行きに波乱要因があり、投資が計画通り進むかは不透明だ。

調査によると、製造業の投資計画額は13・5％増の7兆5079億円で6年連続の増加だった。電動自動車の電池材料や電子部品などが増加する。投資理由は「維持・補修」が25・8％で最も多く、「能力増強」は23・4％だった。

非製造業は10・5％増の14兆6665億円で8年連続の増加。建設中のリニア中央新幹線や駅前開発の不動産が堅調な運輸業に加え、人手不足に悩むコンビニなどで省力化投資が増える。サービス業ではテーマパークの投資が好調な見通しだ。全産業の地域別では、全国10地域全てで増加計画となった。北陸が29・2％で最も伸び率が高く、中国が17・9％、九州が15・8％で続いた。

調査は6月、資本金10億円以上の大企業を対象に実施し、2016社から回答を得た。地域別の計画には中堅企業も含む4808社が回答した。

米、イラン外相に制裁
対立激化で圧力強める

【ワシントン共同】トランプ米政権は7月31日、イランのザリフ外相を米国の独自制裁の対象に追加したと発表した。対話の窓口である外相への制裁は異例。ウラン濃縮や中東・ホルムズ海峡周辺を巡る問題でイランとの対立が激化する中、圧力を強めた。イラン側のさらなる反発を招く可能性が高い。

米国はイランの最高指導者ハメネイ師への制裁を6月24日に発表。その際、ザリフ外相についても近く制裁対象に追加すると表明していた。米国内の資産が凍結され、米国人との取引ができなくなる。

ザリフ氏は「私はイラン国外に不動産や利権を持っておらず、制裁は私や家族にまったく影響がない」とツイッターに書き込んだ。

ポンペオ国務長官は声明で「米国は外交的解決を模索し続けている。唯一の解決策は全ての脅威に対応する包括的な合意だ。それまでは最大限の経済圧力を続ける」と強調。ムニューシン財務長官は「米国はイランの最近の行動を受け入れないとの明確なメッセージだ」との声明を出した。

米政府はザリフ氏を制裁対象に加える方針を発表した後も当面見送る姿勢を示していた。ロイター通信はポンペオ氏が当面の間、交渉の相手方であるザリフ氏を制裁対象とするのに反対していたとの見方を伝えた。

ザリフ氏は国際社会との協調を志向する穏健派で、国連大使を務めるなど米国暮らしが長く、2015年の核合意の取りまとめに尽力した。

一方、ボルトン米大統領補佐官（国家安全保障問題担当）は7月31日の米テレビで、ロシアや中国などに認めていたイランとの民間レベルの原子力協力について、制裁の適用除外を90日間延長すると表明した。ただ「活動を非常に注意深く見守る」とくぎを刺した。

設備投資8年連続増へ
19年度大企業、省力化寄与

【共同】一般住宅での民泊営業を規制する独自条例の必要性を自治体に尋ねたところ、民泊物件が多い都市部を中心に生活への影響を懸念する声が強く、政令指定都市と東京23区（計43自治体）は67％が規制を支持していることが1日、共同通信アンケートで分かった。物件が少ない地方では規制に消極的な意見が多いが、増加に転じた場合の規制強化への言及もあった。

全自治体では「必要でない」20％、「どちらかといえば必要でない」24％で計44％。「必要」10％、「どちらかといえば必要」31％の計40％（四捨五入のため合計は一致しない）を上回った。

既に条例を制定している京都市は「住宅地と観光地が混在している地域特性に対応できる制度が必要」と訴えた。

民泊を巡るトラブルがあると答えたのは東京や沖縄など10都道府県と69市区町村。ごみ出しや騒音などが大半を占めた。

昨年6月に施行された住宅宿泊事業法は、自治体への届け出を条件に年間180日までの民泊営業を解禁。生活環境の悪化を防ぐ必要があるときは、都道府県や政令市などが営業日数や地域を制限できる仕組みとした。

規制を不要とする自治体には「古民家の有効活用につながる」（愛知県知多市）など民泊拡大への期待がある。一方で「今後、問題が出てきたら規制が必要になる可能性はある」（盛岡市）との指摘もあった。

規制が必要な理由は「観光客より町民の生活を優先すべきだ」（北海道羅臼町）、「全国一律の制度では地域事情に対応できない」（兵庫県明石市）などだった。

アンケートは5月～7月に実施し、全自治体（1788）の99％を超える1780が回答した。

TEMPLO XINTOISTA DO BRASIL
南米神宮
開運 沼矛八方祓（ぬぼこ はっぽうばらい）
Rua Estado de Israel, 76 - Vila Clementino SP
Tel: (11) 5575-4783 – www.temploxintoista.org.br

ALFAINTER TURISMO
Visite nosso site: www.alfainter.com.br
(11) 2187-8989(SP)
sao@alfainter.com.br
Pacote Aéreo
ENDEREÇO: Rua Galvão Bueno,33 - Sala 62 - LIBERDADE - CEP.01506-000 - SÃO PAULO -SP

Japão super moderno
Tecnologia, mangá, arquitetura contemporânea, restaurantes mais estrelados, top fashion, shoppings, você pode visitar tudo isso através da nossa agência!
1949 TUNIBRA TRAVEL
renovando e realizando suas viagens!
Há 70 anos fazendo história, satisfazendo todos os clientes com preços imbatíveis!
(11) 3346-8200
A Tunibra nas redes sociais
tunibra@tunibra.com.br
End: Praça da Liberdade, 170 (colado ao metrô Japão-Liberdade) - Liberdade - São Paulo

Selic 史上最低を更新、年利６％に

中銀、さらなる利下げも示唆

「国際経済情勢は伯国に追い風」

７月３０、３１日に開かれた伯国中銀の通貨政策委員会（Ｃｏｐｏｍ）において１６カ月ぶりの利下げが全会一致で決定された。経済基本金利（Ｓｅｌｉｃ）は昨年３月下旬に、史上最低水準の年利６・５０％に設定されて以来、１０会合連続で据え置かれてきたが、今回０・５０％ポイント（Ｐ）下がり、史上最低水準を更新する年利６・００％になったと、１日付伯字各紙が報じている。

今回の利下げは「経済継続」、「社会保障制度改革案、下院で1回目の承認」などの要因が重なって起きた。Ｓｅｌｉｃは１９９６年の制定以来、すでに史上最低の水準になっているが、中銀は更なる利下げの可能性をも示唆した。中銀の決定にボウソナロ大統領（社会自由党・ＰＳＬ）も満足感を示している。

金融情報サイトＭｏｎｅＹｏｕや、インフィニティ・アセット・マネージメントによれば、政策金利からインフレ率を引いた伯国の実質金利は１・６３％で、まだ世界では８番目の高さ。

今回のＣｏｐｏｍでの利下げは大方の経済関係者が予想していた。意見が分かれていたのは、下げ幅が０・２５％Ｐか、０・５０％Ｐかという点だった。

中銀はＳｅｌｉｃの発表と同時に、決定の根拠、経緯、今後の見通しなどを書面で発表する。その中には「インフレリスクが抑制されていることで、思い切った利下げを選択した」と記されていた。文書にはさらに、「経済指標からは、伯国経済が今後回復する可能性が読み取れるが、その勢いは限定的」、「国際経済情勢は伯国にとって追い風」とも書かれていた。

７月３１日伯国利下げの決定直前に、米国も政策金利を０・２５％Ｐ下げ、「２％から２・２５％の範囲」と定めた。米国利下げは約１０年半ぶりだ。

利下げによって生じ得る副作用にインフレがあるが、６月末時点での直近１２カ月インフレ率は３・３７％と、今年のインフレ目標４・２５％を下回っている。中銀の文書には「利下げを後押しする要因が重なっている。更なる利下げも可能だが、社会保障制度改革がもし挫折したらインフレ抑制のためには大きなマイナス」とも書かれていた。

中銀の利下げ発表と時を同じくして、国営の連邦貯蓄銀行（ＣＡＩＸＡ）も２日付けで、主要融資プランの金利を引き下げると発表した。同行は８月１９日から「Ｃａｉｘａ Ｓｉｍ」と名づけた新融資プランを投入することも明らかにした。

ペドロ・ギマラエス頭取は、「月に１０％から２０％も利子をとることは合理的ではない。当行は、企業向け、個人向けを問わず、全ての融資プランで金利をさげる」と発言した。

景気の低迷と、インフレ抑制が利下げに繋がった（参考画像・Marcello Casal Jr./Ag. Brasil）

大物ブローカー遂に逮捕

１年以上も逃亡、聖市に潜伏

昨年５月に連警が闇為替ブローカー摘発のためのカンビオ・デスリーゴ作戦を実行して以来、逃亡状態にあった大物闇為替ブローカー、ダリオ・メッセル容疑者が、７月３１日に聖市ジャルジンス地区のマンションで捕まったと、１日付伯字各紙が報じた。

同容疑者はリオ州のラヴァ・ジャット（ＬＪ）作戦から派生したカンビオ・デスリーゴ作戦において発覚した資金洗浄、資産隠し、犯罪組織形成の容疑で身元未確保のまま、連邦検察から起訴されていた。また、パラグアイでも指名手配を受けていた。

カンビオ・デスリーゴ作戦は、共犯だったヴィニシウス・クラレ、クラウジオ・バルボーザの２容疑者の報奨付供述によって発動され、３３人の闇為替ブローカーの逮捕に繋がった。

２人の供述によると、メッセル容疑者は２０１３年まで、カリブ海のアンティグア・バーブーダの銀行を使って、４２９人の顧客を抱えていた。

〝顧客〟とは、「所得を隠したい」「犯罪行為で得た金」などの理由で自国当局に届け出できない金を、通貨の両替や名義変更などで自由に使えるようにすることを望む人物を指し、彼らも罪に問われる。

同容疑者は「ブローカーの中のブローカー」の異名をとっていたこともあり、顧客の中には小規模の闇為替ブローカーもいた。また、既に多くの汚職容疑で被告になっているセルジオ・カブラウ元リオ州知事のオペレーターも顧客だった。

彼は両替商のビジネスを父から受け継いだ。その後、違法な両替や資金洗浄を生業とし、世界５０カ国で１６億ドルを動かしていた。

バルボーザ容疑者によると、彼は闇取引などによる収益の６割を自分の懐に入れていた。２００９年から２０１７年までの間に懐に入れた金は２４００万ドルに上るという。

検察庁リオ支部のジョゼ・アウグスト・ヴァゴス氏は、「メッセル容疑者は何年間も逃亡状態だった。奴は巨額の資金を持ち、闇社会にも影響力を持っていたため、これまでに行った摘発作戦では身柄を拘束することが出来なかった。しかし、今日、リオ州ＬＪ特捜班は、連邦警察、連邦検察、国税庁だけでなく、伯国外の機関の助力も得て、今回の逮捕を成し遂げた」と語っている。

東西南北

聖市地下鉄４号線のオスカル・フレイレ駅は、昨年４月に営業が開始されたが、出入り口の一つが工事中のままだった。だが、完成の遅れていたレボウサス大通りの出入り口が、駅開業から１年３カ月以上経過した７月３１日にやっと完成し、落成式が行われた。この出入り口にはエスカレーターとエレベーターがついている。４号線は運行業務が民間企業に委託されているため、ストの影響も受けにくく、車両や駅も他の線よりずっと近代的だが、ヴィラ・ソーニア駅がまだ未完成だ。

◎

ボウソナロ大統領は７月３１日、「ドナルド・トランプ米大統領にますます魅了されている」と発言した。三男エドゥアルドを駐米大使に指名するつもりであることを聞いたトランプ大統領が、「素晴らしいアイデア。私も嬉しい」と賛意を示したことに気を良くしての発言だ。エドゥアルドも、父に同行して米国を訪問した際にトランプ氏再選を支持する野球帽を堂々と被り、トランプ氏にすりよる姿勢を隠そうともしなかった。本当に大使に就任した場合、伯米貿易協定交渉などで両国の利害が食い違ったとき、どんな態度をとるのやら。

◎

サッカー伯国代表監督のチッチが、今年のＦＩＦＡ世界最優秀監督賞候補にノミネートされた。コパ・アメリカ優勝を評価されてのものだが、競争相手にはマンチェスター・シティのグアルディオラや、リバプールのクロップなど、有力候補が目白押しで、受賞の可能性は余り高くない。表彰式は９月１３日、イタリアのミラノで行われる。選手部門では、男女共に伯人選手は候補に入らなかった。

麻疹

聖州の患者は増加の一途

リオ州でも流行の懸念拡大

聖州保健局が７月３０日、麻疹（はしか）の患者数が６３３人に増え、内４８４人は聖市在住の患者だと発表したと７月３１日付アジェンシア・ブラジルなどが報じた。

７月１７日現在の患者は４８４人だったから、患者数は２週間弱で１４９人増えた事になる。

同州での予防接種キャンペーンは大聖市圏内１４市に拡大しており、１５～２９歳の青少年４４０万人が対象となっている。また、聖市では、６カ月以上１歳未満の子供も対象に加えられた。

これを受け、大聖市圏では、地下鉄や都電（ＣＰＴＭ）の駅、近隣市を結ぶバス（ＥＭＴＵ）のターミナルなどでも予防接種を実施中だ。

１日付エスタード紙などによれば、聖市では、既に発表されていた大学や高校での接種計画に加え、公私立の保育所での集団接種を始める事も決まったという。

近隣で麻疹患者発生が確認されたが、自分が予防接種を受けたかがわからないという人は、対象年齢以外でも予防接種を受けられる可能性があるので、保健所などで相談すると良い。

他方、１日にはリオ州保健局が、麻疹流行への懸念を表明。保健所での予防接種強化を促すと共に、州内の空港や公共交通機関の駅、ターミナルなどで、麻疹の症状や予防接種の必要性などを記したパンフレットの配布を始めた。

同州では昨年、１歳以上４９歳未満の人への予防接種キャンペーンを実施し、実施率９５％を達成しているが、聖州での感染拡大と、今年に入ってから１３人の患者が確認されている事で、予防措置の強化を決めた。

ボウソナロ大統領

調査委員会の過半数入れ替え

死者や失踪者の調査の今後は

大統領交代で全てが変わる？

【既報関連】１日付連邦官報に、軍政中の政治犯の死亡や失踪に関する調査特別委員会のメンバー交代が告示されたと同日付伯字紙サイトが報じた。

特別委員会のメンバー交代は、ボウソナロ大統領とダマレス・アウヴェス女性家庭人権相の連名で発表された。

大統領によると、メンバー交代は大統領が交代したからで、「テロリスト達がいた間は皆が黙っていた。大統領が代わったのだから、同件も、環境問題に関する論議も変わる」としている。

同特別委員会は７月２４日、伯国弁護士会（ＯＡＢ）のフェリッペ・サンタクルース会長の父親フェルナンド・アウグスト・デ・サンタクルース・オリヴェイラ氏は、「軍政下で行われた迫害により、１９７４年２月に死亡」とする死亡証明書を発行した。

だが、ボウソナロ大統領は７月２９日に、「ＯＡＢ会長の父親の死の真相を教えてやる」と前置き後、「オリヴェイラ氏は軍によってではなく、彼を信用出来なくなった左派の反体制派によって粛清された」と語る、生中継ビデオを流した。

オリヴェイラ氏は、カトリック総合大学在学中に反体制派の大衆運動（ＡＰ）に参加。連邦政府発行の書物『記憶と真実への権利』によると、同氏はＡＰ仲間のエドゥアルド・コリエル・フィーリョ氏と共に、７４年２月にリオ市コパカバーナで陸軍秘密警察に捕まり、消息を絶った。

他方、旧海軍省が１９９３年に作った文書や、７月２９日に公開された１９７８年９月１８日付の旧空軍省の文書にも、７４年２月に逮捕との記載があり、ＡＰによる殺害説には無理がある。連邦検察庁も７月３１日、オリヴェイラ氏ら１２人の遺体はリオ州の製糖工場で焼却されたとの捜査結果を再公表した。

だが、大統領は７月３０日も、「調査特別委員会や真相究明委員会の文書はまやかし」との趣旨の発言を行い、自分の論は正当だと釈明した。

このようなやり取りの中で発表されたのが、委員長のエウジェニア・アウグスタ・ゴンザガ氏の代わりに、ダマレス氏側近のマルコ・ヴィニシウス・ペレイラ・デ・カルヴァーリョ氏など、７人中４人の委員の交代だ。

１９９５年創設の特別委員会は、１９６１年～７９年に反体制派の政治犯として扱われて消息を絶った人々の足取りの調査や認証活動を続けている。エウジェニア・ゴンザガ氏は７月２９日の大統領発言を、「遺族の心痛を思うと非常に深刻」と批判していた。

サンタクルースＯＡＢ会長も発言当日、大統領の態度は「残酷で一片の共感性もない」と批判した。また、７月３１日には、大統領が知っている事を話させるための質問状を最高裁に提出。同件はルイス・バローゾ判事が扱う事になっている。

ボウソナロ大統領への質問状を提出したフェリッペ・サンタクルースＯＡＢ会長（Fabio Rodrigues Pozzebom/Agência Brasil）

汎米大会

伯国は体操でメダルラッシュ

女子ハンド、金で東京行き確定

ペルーのリマで７月２６日から行われている、南北アメリカ、カリブ海諸国限定参加の〝ミニ五輪〟、パン・アメリカン競技大会（汎米大会）７日目の１日昼までで、伯国は金メダル１２個、銀メダル１０個、銅メダル１個の計４０個のメダルを獲得したと、７月３１日、８月１日付伯字各紙・サイトが報じた。

大会前半、伯国チームを牽引したのは男女体操だ。伯国は男子が団体で金、個人総合で金と銀、鉄棒で金と銀、平行棒で銀、あん馬で銀、つり輪で銀を獲得。女子は団体で銅、個人総合で銅、床で銅と、金４、銀４、銅３の合計１１個のメダル獲得となった。

また、７月３０日には女子ハンドボールが決勝でアルゼンチンを破り、６大会連続で優勝。東京五輪出場権を獲得した。

同じく３０日には、重量挙げ男子の最重量級である１０９キロ超級で、フェルナンド・レジスが汎米大会３連覇を果たした。ボーリング男子個人でも、マルセロ・スワルツが３大会連続のメダル獲得となる銀メダルを獲得した。スワルツは１１年グアダラハラ大会（メキシコ）で銅、１５年トロント大会（カナダ）では金だった。

また、今大会は平均年齢２２・２歳と若い選手を送り込んだ伯国ボクシングチームは、７月３１日までの段階で銅メダル２個を確定させ、決勝進出者が４人も出ている。決勝進出者は勝てば金メダル、負けても銀メダル獲得だ。男女階級別の決勝は１、２日にかけて行われる。

ニッケイ新聞大人気シリーズ！最新刊発売開始!! 日本文化第９巻特別号
眞子さま写真集
リオ、ロンドリーナ、マリンガー、サンパウロ、マリリア、プロミッソン、平野植民地、アラサツーバ、マナウス、ベレン、トメアスーの写真を全て収録
あの感動が蘇る！
子孫につたえよう
心を込めて花を供えられ、手を合わされた眞子さまのお姿を。
特別価格 R$60
日本語（ルビ付き）とポルトガル語併記
ご注文／お問い合わせ 詳しくはニッケイ新聞社編集部まで。郵便でのご注文は太陽堂、フォノマギ、高野書店でどうぞ。
ニッケイ新聞社 ☎11-3340-6060 | 太陽堂 ☎11-3208-6588 | フォノマギ竹内書店 ☎11-3104-3399 | 高野書店 ☎11-3209-3313

セットでお得キャンペーン
『日本文化』5巻まで同時購入で 195レアルが160レアルに 35レアル割引!!
ニッケイ新聞で大好評連載中の『国際派日本人要請講座』を中心に
日本独自の文化や歴史を
日ポ両語で紹介！
日本文化
日本文化1 R$35,00 | 日本文化2 R$40,00 | 日本文化3 R$40,00 | 日本文化4 R$40,00 | 日本文化5 R$40,00
サンパウロ青年図書館
ニッケイ新聞大人気シリーズ！プレゼントにも！
お問い合わせ・販売 詳しくはニッケイ新聞社編集部まで-☎(11-3340-6060)。日系書店でも販売中！ 地方発送も出来ます！
■太陽堂（11-3208-6588）■フォノマギ竹内書店（11-3104-3399）■高野書店（11-3209-3313）■UMANTYU SHOP - SANTO ANDRÉ（11-4472-4532）

国政に大統領夫人の影響？
「妻の頼みは断れない」

「ミシェレ夫人は、閣僚よりもボウソナロ大統領への影響力が大きい」―。ボウソナロ大統領が就任してから半年余り。ミシェレ夫人は既に、現政権の大半の閣僚より多く、自分の意見を夫の政策に反映させた。最新の例では、ダマレス・アウヴェス女性家庭人権相の意見に反し、国勢調査に自閉症に関する質問を入れさせている。

ミシェレ・ボウソナロ氏（左）とオズマール・テーラ市民相（Abelardo Mendes Jr/ Ministério da Cidadania）

関する審議会の議長だ。

政府の最重要課題である社会保障制度改革においてもミシェレ夫人の意見が採用され、重度の障害のために働けない人たちへの年金は全額支給との文言が盛り込まれた。

ジャイール・ボウソナロ大統領（社会自由党・PSL）が、前々妻との間に出来た三男エドゥアルドを駐米大使に付けることに意欲満々で、批判されると「息子優遇の何が悪い」と言ってのけたことはよく知られている。

ボウソナロ大統領は妻からの要請や提案に関しても、「ファースト・レディの頼みは断れないし、遅らせることも出来ない。彼女の言葉はとっくに特別局長に伝えた。彼は聞き入れるだろう」と悪びれずに語り、大統領夫人の国政介入に問題があると認識している様子さえも見せなかった。

大統領はネット経由での生動画配信を好むが、そこでも、「妻のインスタグラムをフォローしてくれ。自分の妻だから言ってるんじゃない。彼女の仕事は素晴らしいんだ」と語っている。

（7月29日付エスタード紙より、7月30日掲載）

ミシェレ夫人はこれまでの大統領夫人とは違って、普段は大統領府ではなく、市民省や女性家庭人権省の入っているビルで執務している。役職は愛国ボランティア計画に

リオ
路上生活者が死傷事件
2人が死亡、負傷者も5人

リオ市南部のラゴア区で7月28日、路上生活者が錯乱状態に陥り、停車中の車の運転手ら3人を刃物で刺すという事件が起きた。

目撃証言によると、プラシド・コレア・デ・モウラ容疑者（44）は、事件当時、精神に異常をきたし、意味不明な言葉を叫んでいたという。

防犯カメラの映像によると、同容疑者は車に近づくと、運転していたジョアン・フェリス・デ・カルヴァーリョ・ナポリ氏（35）に喧嘩を吹っかけ、彼を刺した後、ナポリ氏を助けようとして車を降りた恋人のカロリーネ・モウチーニョ氏にも切りつけた。

それを見たナポリ氏はモウチーニョ氏を助けようとして車を降りたが、容疑者ともみ合い、腹部を刺された。ナポリ氏は走って逃げようとしたが、路上に倒れた。

モウチーニョ氏は反対方向に逃げ、助けを求めた。モウチーニョ氏らからの通報を受け、警察や消防も駆けつけたが、ナポリ氏は助からなかった。また、モウチーニョ氏は手と腹を刺され、病院に運ばれた。

モウラ容疑者は駆けつけた警官との交渉には応じず、ナポリ氏を助けようとしていた消防士や通行人らの群れに突進。彼の接近を阻もうとした体育教師のマルセロ・エンリケ・コレア・レイス氏（39）は容疑者に刺されて即死した。

警官は当初、テーザー銃で同容疑者の動きを止めようとしたが、レイス氏を襲った容疑者が警官達にも襲いかかろうとしたため、同容疑者の足を狙って実弾を発射。両足を撃たれて動きが止まった容疑者は、その後に逮捕された。

容疑者は頭部にもかすり傷を負ったが、命には別状はない。救助に駆けつけた消防士1人も足に被弾した他、消防士1人と軍警1人が銃弾の破片で負傷した。消防士1人と軍警は軽傷で済んだ。

（7月29日付G1サイトなどより、7月31日掲載）

当地メディアの広範なニュース
ブラジルトピックス
ホットな話題をここで

喫煙者が9・3％に減少
WHOが禁煙活動の模範と賞賛

世界保健機関（WHO）が7月26日に、世界171カ国の中で、政府が主導する形で禁煙活動を行い、成果を挙げている国として、伯国とトルコを賞賛した。

伯国とトルコは、煙草の流行を食い止めるためのMパワーと呼ばれる計画を導入している国の一つだ。Mパワーが採用しているのは、（1）煙草の使用状況や予防のための政策の監視、（2）煙草の害から人々を守る、（3）喫煙を止めたい人への支援、（4）喫煙のリスクを周知させる、（5）煙草に関する宣伝やプロモーション、スポンサー契約禁止、（6）煙草への税引き上げの6方策だ。

慢性病のリスクと保護に関する電話調査によると、18年の伯国の喫煙人口比率は9・3％で、同調査開始年（06年）の15・7％と比べて、6・4％ポイント（39％）減少した。ルイス・エンリケ・マンデッタ保健相によると、喫煙人口比率は、毎年、低下しているという。

同調査によると、18～24歳の喫煙人口比率は12％から6・7％、35～44歳は18・5％から9・1％、45～54歳は22・6％から11・1％にという具合に、全ての年齢で比率が下がっている。同期間中の女性の喫煙人口比率は44％減少した。

政府が主導する形の禁煙活動は1990年代に始まり、統一医療保健システム（SUS）でも喫煙者の診察や禁煙希望者を支援する活動を行うようになった。SUSでは禁煙希望者への指導、錠剤や貼り薬などの提供が無料で行われており、

伯国の喫煙者は9・3％に減った（Banco Mundial/ONU）

けけ付ける電話サービス（136番）も実施中だ。

煙草価格に締める税の割合も、08年の57％が83％（18年）へと、大幅に引き上げられた。閉鎖空間での喫煙を禁ずる市や州の条例は、11年から採用され始めており、毎年、条例数が拡大している。

喫煙は気管や気管支、肺のガンも引き起こす。伯国では昨年、男性1万8740人と女性1万2530人が、煙草によるガンで亡くなった。

15年の場合は、煙草が原因の心臓疾患で3万4999人、慢性的な肺疾患で3万1120人、前記以外の器官のガンで2万6651人、肺ガンで2万3762人、受動喫煙による疾患で1万7972人、肺炎で1万900人、脳血管障害で1万812人が、各々、亡くなっている。

15年の場合、煙草に起因する疾患治療費などにかかった直接的な費用は394億レアル、煙草の害によって早期に死亡した事や就労不能となった事などによる間接的な損失は、175億レアルと計算されている。

（7月26日付アジェンシア・ブラジルより、1日掲載）

18年は13万4千人がこのサービスを利用した。

05～16年に公的な医療機関で禁煙指導や治療を受けた人の数は、およそ160万人だ。禁煙に関する質問などを受

聖州
積もり積もったゴミ9トン！
妻の癖にたまりかねた夫が処分

聖州内陸部サウト市で、妻が拾ってくるゴミの山に辟易した夫が塀を壊し、道路にゴミを投げ出すという事件が発生。市役所の助けを得て処分したゴミは9・2トンに及び、トラック7台で運び出された。

ジャルジン・トレス・マリアス区でのゴミの投げ出しは、7月22日に起きた。近隣住民を驚かせた主は82歳の男性で、90年代に母親を亡くした妻（77）が、以来約20年間、あちこちで拾っては持ち帰った品物の山にたまりかねての事だったという。

妻が持ち帰った品は、段ボール箱やガラス、古くなった家具など、実に雑多で、道に投げ出したのはほんの一部だった。

この夫婦には子供はなく、最も近い親戚は、同じ道筋に住見、やはり年配の兄弟達だ。

夫婦の家の車庫は、紙や雑誌で満杯の段ボール箱やマットレスなどで埋まり、車庫の扉（門）は完全に塞がっていた。

そこで夫がとった最終手段が、塀の一部を壊してそこから出入りし、ゴミを道路に投げ捨てるという行動だった。

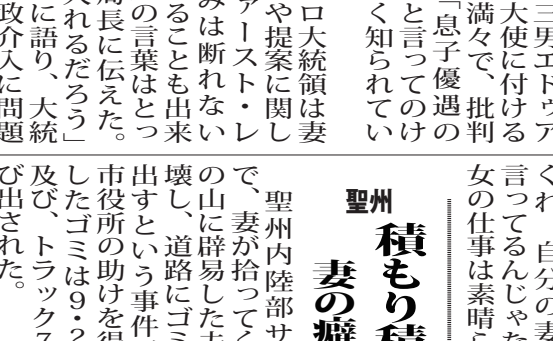
大量のゴミが投げ出されたと聞いた防災局の職員が現場に急行し、歩道の掃除をしたが、それだけでは事態は何も変わらない。デング熱を媒介する蚊やねずみなどの巣となる可能性もあると心配する夫や住民の声は、当局にも届いた。

防災局から連絡を受けた市役所は、社会福祉局や保健局衛生管理課、環境局とも連絡を取り、精神面の健康のケア責任者も伴って夫婦を訪問。妻の病気への対応と並行して、瓦礫などの整理を行う事になった。

この妻のように、周囲の人にはゴミというつる物が大切で手放せず、何でも集めておく例は、2013年に精神科の病気の一つと認定された。この病気の人は人口の5％いるとされている。

サウト市の夫婦の場合は、防災局や市警備隊、社会福祉局、環境局の支援を得て大掃除を実施。7月25日までに9・2トンのゴミが運び出された。7月26日に市役所が行った報告によれば、ゴミの8割は再生利用ゴミの処理施設に運ばれたという。77歳の妻は、大掃除の間に、病院で診察や投薬なども受けた。

（7月23、26日付G1サイト、並びに、2月28日、4月3日付G1サイトより、7月30日掲載）



ゴミの山にたまりかねた夫が壊した塀とそこから投げ出されたゴミ（6月23日付G1サイトの記事の一部）

リオ市
1万6千丁の火器を破壊
武装犯罪防止への啓蒙作戦

リオ市西部デオドーロの陸軍軍備維持補給大隊（BMSA）で7月26日の午前中、犯罪捜査などで押収された火器1万6千丁を破壊する、ローロ・コンプレッソル作戦第3弾が実施された。

リオ州内で押収された火器の一部を破壊する作業は、陸軍が担当した。3年前に始まった同作戦は、武装犯罪を抑制・防止するための啓蒙活動の一つだ。

破壊された火器は、既に裁判が行われたり、始まったりした件に関連した摘発作戦などで押収された火器の内、利用価値がないと判断されたものだ。様々な事件や作戦で押収された火器の一部は警察や軍などの治安関連諸機関に寄贈されるが、それ以外のものは、整地作業や農地の整備などに使われる幅広のローラー車（Rolo Compressor）によって破壊された。

（7月25日付アジェンシア・ブラジルより、7月26日掲載）

犯罪捜査などで押収された火器の一部（(Arquivo/Fernando Frazão/Agencia Brasil)

サンパウロ周辺イベント情報

【サッカー】

【全国選手権】

8/4（日）
・サントスFC対アヴァイーFC（ヴィラ・ベルミーロ）

・コリンチャンス対パルメイラス（アレーナ・コリンチャンス）

（アトレチコ・パラナエンセ対サンパウロFCは、アトレチコ・パラナエンセが日本遠征中のため順延）

8/7（水）
・コリンチャンス対ゴイアス（アレーナ・コリンチャンス）

【8/2～8/8のコンサート】

8/2（金）、3（土）
・マリア・ベターニャ（Credicard Hall Av. Nacoes Unidas, 17955 - Vila Almeida）
2016年リオのカーニバルで自身の半生をテーマにしたパレードも行われた大物歌手

8/5（月）
・ジョルジェ・アラゴン（Bar Templo Rua. Guiambe, 322 - Mooca）
多くの名曲を生み出したベテランサンバシンガー

【展覧会】

・ビョーク・デジタル（サンパウロ映像博物館 Av. Europa, 158 - Jardim Europa）
アイスランドが生んだ世界的鬼才歌姫、ビョークのアート展示会。8月18日まで。

【今週公開の映画】

・Abaixo a Gravidade（伯）
田舎に住む孤独な男性が重い病にかかっていることを知り、治療を受けるために都会にでるか、このまま田舎に留まるかの決断を迫られる

日ポ生活会話ガイド
ニッケイ新聞出版、宮坂国人財団・アリアンサ日伯文化連盟協賛
o Jeitinho no Japão para os brasileiros
ブラジル人のためのニッポンの裏技
Guia Prático para viver no Japão
暮らしに役立つ日本語便利帳
▶日本語とポルトガル語の勉強にすごく便利
▶面白くて分かりやすい
▶画像付き日常生活の会話
▶カテゴリー別、辞書付き
▶日本の生活ガイドにも
特別価格 R$50
ご注文・お問い合わせ先
詳しくはニッケイ新聞社 11-3340-6060 担当マリアまで
郵便でのご注文の方は、●太陽堂 ●フォノマギまで
●ニッケイ新聞社 11-3340-6060 ●太陽堂 11-3208-6588 ●フォノマギ竹内書店 11-3104-3399

セブンペイ9月末廃止

未使用残高払い戻しへ
開始3カ月、異例の撤退

【共同】セブン&アイ・ホールディングスは1日、東京都内で記者会見を開き、不正利用の被害があったスマートフォン決済「7pay（セブンペイ）」のサービスを9月末で廃止すると発表した。抜本的な対策が長期化する見通しで、利用者の不信の高まりからサービス継続は困難と判断した。7月のサービス開始からわずか3カ月で撤退するのは異例。未使用残高は10月以降、払い戻す。今後、他社の事業との連携強化を図るほか、自社のスマホ決済についても新たなサービスを模索する。

セブン&アイの後藤克弘副社長は「被害は100%補償させていただく。関係者の皆さまに心よりおわび申し上げる」と謝罪。「体制を準備してもう一度サービスに参画できるかチャレンジしていきたい」と述べた。

被害は7月末時点で全国の利用者808人、計約3861万円に上る。経営陣の責任については「当然認識している。原因究明と再発防止に全力を挙げるのが責任だ」とし、現時点での経営陣の辞任や処分の必要性を否定した。

セブンペイはセブン&アイのデジタル戦略の中核を成すサービスと位置付けていた。記者会見には、セブン&アイの井阪隆一社長や主要子会社の経営トップは出席せず、経営陣の認識の甘さに改めて批判が出そうだ。

不正アクセスの手口について、同社の調査で不正に入手したIDとパスワードのリストを使ってセブンペイ利用者に成りすます「リスト型攻撃」だった可能性が高いと結論付けた。複数端末からログインする際の対策や追加認証の検討が十分ではなく、開発に複数のグループ会社が参加していたためシステム全体の検証ができておらず、リスク管理の体制にも問題があったとした。

セブン&アイは、連絡が取れた被害者には19日以降、順次補償手続きを案内する。弁護士を中心とする検証チームも設置した。引き続き原因究明を進める。

これまでは対策をさみだれ式に打ち出し、サービスを継続する姿勢を見せていた。

運営会社のセブン・ペイは存続させる。消費税増税に伴うキャッシュレス決済のポイント還元制度の参加事業者として登録申請していたが、サービス廃止に伴い辞退する。問い合わせは通話無料の7payお客様サポートセンター緊急ダイヤル、電話（0120）192044。

責任逃れに終始 経営トップは雲隠れ

【共同】「もう一度サービスに参画できるかチャレンジしていきたい」。セブン&アイ・ホールディングスがスマートフォン決済「7pay（セブンペイ）」のサービス廃止を公表した記者会見では問題の全容解明に至らない中、幹部による突然の「再チャレンジ表明」に質問が相次いだ。セキュリティー対応の正当性の主張と責任逃れに終始し、報道陣からは失笑も漏れた。

2時間を超える緊急記者会見で会場に現れたのは、セブン&アイの後藤克弘副社長ら4人だけ。井阪隆一社長のほか、セブンペイのお披露目で説明に立ったコンビニのセブン―イレブン・ジャパンの永松文彦社長、運営会社セブン・ペイの小林強社長ら主要幹部は姿を見せず、問題発覚以降、経営トップの面々は雲隠れを貫いた形だ。

不正利用被害の発覚後、一連の対応が利用者の混乱を生んだとの指摘もあるが、後藤氏は「打つべき対策を果断に打った」と自画自賛。インターネット上では「自分たちは悪くない、みたいな会見」「加盟店を大切にしない報い」などの辛辣なコメントが目立った。

記者会見で不正利用被害を謝罪するセブン&アイHDの後藤克弘副社長（左から2人目）ら＝1日午後、東京都千代田区（共同）

児童虐待、最多15万9千件
18年度、28年連続の増加

【共同】全国の児童相談所が2018年度に児童虐待の相談・通告を受けて対応した件数が15万9850件（速報値）に上ったことが1日、厚生労働省のまとめで分かった。1990年度の統計開始から28年連続の増加。児相との連携を進める警察からの通報が増えており、子どもの前で家族に暴力を振るう「面前DV（ドメスティックバイオレンス）」などの心理的虐待が55・3%を占めた。

悲惨な虐待事件が相次いだことを受け、来年4月には、親による子どもへの体罰を禁止する改正児童虐待防止法と改正児童福祉法が施行される。政府は虐待対応に当たる児童福祉司の増員を決定しているが、体罰に頼らない子育て方法を伝えるなど親を対象とした対策も求められる。

厚労省は、昨年7月～今年6月に虐待相談・通告の対象となった子ども延べ15万3571人のうち、国が原則としている48時間以内の安全確認が取れなかった子ども1万1984人（7・8%）だったとする調査結果も公表。東京都目黒区の船戸結愛ちゃん=当時（5）=を含む、17年度中に虐待を受けて亡くなった子どもは16年度比12人減の65人（心中の13人含む）だったとしている。

同省によると、18年度の虐待対応件数は17年度から2万6072件増加。そのうち1万3095件は警察などから、4467件が近隣知人からの情報だった。

内容別では、面前DVや暴言などの心理的虐待が8万8389件で最多。身体的虐待が4万2566件（25・2%）、育児放棄（ネグレクト）が2万9474件（18・4%）、性的虐待が1731件（1・1%）。心理的虐待は前年度から1万6192件、身体的虐待は7033件増えた。

政令市や中核市を含む都道府県別の件数では、大阪の2万694件が最も多く、神奈川1万7272件、東京1万6967件が続いた。最も少なかったのは鳥取の80件。全ての都道府県で増加し、増加率は沖縄（1・59倍）や山形（1・52倍）などが高かった。

心理的虐待が半数超

満天の星、観光の目玉に
泊まって観賞、町おこしも

【共同】星空を観光の目玉としてアピールする動きが盛んになっている。天文台を備えた宿泊施設が人を集め、旅行会社はツアーを企画。自治体は満天の星を宣伝して町おこしに取り組む。

猛暑でも涼しくなる夜には楽しめることや、ナイトタイムエコノミー（夜の経済活動）の波も後押しし、天文ファンの裾野が拡大してきた。

プラネタリウムを備えた宿泊施設で、星を満喫できるのが熊本県南阿蘇村の「南阿蘇ルナ天文台・オーベルジュ森のアトリエ」。

夜は巨大な天体望遠鏡をのぞいたり、星の知識が豊富な「星のコンシェルジュ」の解説とともに屋外で星を眺めたりできる。

アジアを中心に訪日客も増えており、高野敦史支配人は「阿蘇の人には当たり前の夜空だが、都会の人には貴重な体験になる」と話す。

日本旅行は、星空や宇宙に親しむ旅行商品に力を入れる。6月に催行した女性向けのツアーは勤務後でも参加しやすいように金曜日の夕方に東京駅を貸し切りバスで出発。千葉県香取市のアウトドア施設に泊まる1泊2日の行程にした。

当日は曇り空だったが、宇宙に関するクイズやヨガ、バーベキューも組み込んだプログラムを満喫。東京都内に住む女性会社員（40）は「いつもとは違う夜を過ごせ、すごく楽しい」と満足げだった。

星空を売りにした町おこしも活発だ。「日本一の星空」をうたう長野県阿智村ではオフシーズンのスキー場を活用し、ゴンドラで標高1400メートルまで上がって星を眺めるツアーを開催。照明を一斉に消すと視界いっぱいに星が広がり、参加者から感嘆の声が上がる。昨年は約15万人が参加した。

鳥取県は「星取県」と称し、美しい夜空をアピール。星空観賞に適した場所を地図で示すアプリを出し、コメの新品種に「星空舞」と名付けるほどの気合の入れようだ。

官民は2017年、天体観測や宇宙関連施設の見学を取り入れた旅を広めようと宙ツーリズム推進協議会を設立し、宇宙の魅力を発信している。

企業や自治体の天体観測イベントを企画し、望遠鏡を貸し出すのは光学機器メーカーのビクセン（埼玉県所沢市）だ。

地域活性化やナイトタイムエコノミーの機運が追い風となり、18年度は約200件の企画に携わった。

猛暑だった昨年夏は、商業施設から「昼間は人の動きが鈍いため、夜にできる催しはないか」との相談も相次いだ。

星空は全国どこでも眺められるだけに、都築泰久企画部長は夜空の下で特産品を味わったり、地元の民話を交えて星座を解説したりと「知恵を絞り、特色を出すことが顧客を呼び込む成功の鍵を握る」と強調している。

さまざまな知を結集して
認知症新大綱から考える

【共同】政府が、認知症対策を強化するための新たな大綱をまとめた。従来の「共生」に加え、「予防」に初めて重点を置くのが最大の特徴だ。新大綱を巡って、私たちが考えるべき課題は何か。認知症の人の心や行動を研究する大阪大大学院教授の佐藤眞一さんに聞いた。

2025年には、65歳以上の5人に1人に当たる約700万人がなると推計される認知症。今や誰もがなり得る「身近なもの」だが、一方で原因や症状は一様ではない。「まず『認知症』とひとくくりにせず、原因疾患別に丁寧な対応をすることが大切」と佐藤さん。

認知症は根本的な治療法も、科学的根拠のある予防法も確立されていないのが現状だ。当初の大綱素案が「70代の発症を10年間で1歳遅らせる」と数値目標を掲げたのに対し、当事者団体などが「自己責任論に結びつく」などと反発し、参考値に変更した経緯がある。さらに新大綱では予防の定義を「認知症にならないという意味ではなく、認知症になるのを遅らせる、進行を緩やかにするという意味」と明記した。

「いろいろできなくなるから鍛えよ」という発想は「認知症になるのは本人の努力不足」という偏見を生みかねない、と佐藤さんは危惧する。

「それよりも、認知症を多くの人がなる『老いの先にある人間の最後の状態の一つ』と捉えることが、『共生』につながる」

そこで着目するのが、国際的な認知症の診断基準が「認知機能の低下が日常生活に支障を与える」となっている点だ。つまり、その人の認知機能が低下しても、生活環境を改善することで「日常生活に支障が出るライン」を越えないようにするやり方もあると言える。「脳の中をどうにかしようとするより、外部環境を変えて生活をしやすくする。その時、私が一番大事だと思うのは『人間関係』という環境です」

新大綱では「認知症バリアフリーの推進」が掲げられ、公共交通事業者に認知症の人への配慮計画の作成などを義務付けた。「医療・介護従事者の認知症対応力向上の推進」も挙げられたが「具体的にどうするかという、中身がない」と佐藤さん。脳に関する研究や新薬の開発はもちろん重要だが、一方で問われているのは、認知症とともに生きるこれからの社会をどう構想するかだ。

認知症が進み、意思を伝えられない人の行動をどう理解していくか。「ケア（介護）」のつもりが、いつしか「コントロール（束縛）」に変わってしまう難しさ…。佐藤さん自身も研究を通じて「共生」への道を探る。

「一言で『共生』と言っても決して簡単ではない。だからこそ、哲学や文学、社会学なども含めた、さまざまな知を結集し考える必要がある」

米中外相、南シナ海で応酬
ミサイル実験で対立先鋭化

【バンコク共同】ポンペオ米国務長官と中国の王毅国務委員兼外相は1日、バンコクで会談した。中国外務省によると、王氏は南シナ海が中国の譲れない「核心的利益」であることを尊重し、言動を慎むよう要求。ポンペオ氏は会談後の記者会見で「中国が振る舞いを改めてくれるよう望んでいる」と述べ、厳しい応酬があったことをうかがわせた。

中国が南シナ海で対艦弾道ミサイル発射実験を実施したことが7月に明らかになり、米側は警戒レベルを高めている。ポンペオ氏は中国の軍事的な行動に懸念を表明したもようだ。

米中両国は貿易摩擦の解消を目指して上海で開いた閣僚級協議を成果なく終えたばかり。経済、安全保障分野を中心に隔たりは大きいままだ。

ポンペオ氏は会談後、ツイッターで「米中関係や北朝鮮問題などについて詳細な意見交換をした」と表明。王氏は記者団に「中米間にはいろんな問題があるが、向かい合って座り意思疎通を図る必要がある」と強調した。ただ両氏とも会談の詳しい内容は明らかにしなかった。

米政府は、米軍の空母を標的とする対艦弾道ミサイルの実験が南シナ海で初めて行われたことを危惧。中国の艦船がベトナムやフィリピンの排他的経済水域（EEZ）で活動していることにも反発し、「透明性と法の支配に基づく南シナ海の繁栄」（米高官）を目指すべきだと中国に訴えている。一方、中国は軍事拠点構築などの既成事実を着々と積み重ねている。

中国は艦船を南シナ海に派遣し「航行の自由」作戦を繰り返す米国を強く非難している。南シナ海での紛争回避に向け、東南アジア諸国連合（ASEAN）と「行動規範」策定の交渉を続けており、域外国である米国の排除を狙う。

新人フラガールがデビュー
いわき市、ハワイアンズ

【共同】東日本大震災で被災し一時、休業した福島県いわき市の温泉施設スパリゾートハワイアンズで1日夜、ダンスチーム「フラガール」の新人6人が初舞台を踏んだ。震災と東京電力福島第1原発事故からの復興を応援し、笑顔と元気を届けようと練習に励んできた。

今年4月に加入した新人は地元いわき市の3人のほか、横浜市出身の徳永千陽さん（19）、東京都町田市出身の三浦琴由希さん（18）、埼玉県川口市出身の小野田はなさん（18）。赤や青などの衣装を身にまとい、先輩ダンサーと共に念願のデビュー。

観客席の最前列で見守った小野田さんの母貴子さん（45）は「2、3日前に『頑張るから楽しみにしてね』と電話があった。5歳からの夢をかなえて一生懸命踊る姿に感動した」と話した。

フラガールは総勢36人になる。

スパリゾートハワイアンズでデビューした新人フラガールら＝1日夜、福島県いわき市（共同）

高額当せん者8割が験担ぎ
宝くじ購入時に

【共同】宝くじの高額当せん者は、購入する際に8割が験担ぎをしていた―。みずほ銀行が1日までに発表した「2018年度宝くじ長者白書」で、こんな実態が明らかになった。担当者は「良い事があった時に買うとさらなる幸運を招くのでは」と話している。

1千万円以上の高額当せん者を対象に、当せん金を受け取る際にアンケートを実施し、996人が回答。約8割が験担ぎをしていた。複数回答の具体例として、「良い事があった時に購入」が15%と最多で、「お参りに行く」が9%。

宝くじ券の保管場所は、1位が「机の引き出し」の24%で、「神棚・仏壇」の23%と続いた。

当せんの秘訣を尋ねると、44%が「運」と回答し、「継続」も23%あった。使い道は「貯蓄」（47%）がトップで、次いで「車の購入」（15%）、「土地・住宅の改築や購入」（13%）だった。

ミニーマウス新幹線出発
JR九州、11月まで運行

【共同】JR九州は1日、博多（福岡市）と鹿児島中央（鹿児島市）を結ぶ九州新幹線で、人気キャラクターのミッキーマウスと、ミッキーの「永遠のガールフレンド」のミニーマウスを車体に装飾した列車の運転を始めた。5月に導入したミッキーを描いた列車が好評だったため、第2弾として導入。夏休みの目玉として、家族連れら行楽客に利用してほしい考えだ。

800系の1編成（6両）の車体に旅行かばんを持ったミッキーと、首にカメラをぶら下げたミニーを描いた。鹿児島市の桜島など九州の観光名所もちりばめている。

この日は招待客向けの特別運行で、車内でアカペラグループ「ディカペラ」が「ミッキーマウス・マーチ」などの曲を熱唱した。母親と参加した兵庫県川西市の幼稚園児、三船葉来ちゃん（3）は「好きなミッキーが描かれている新幹線に乗ることができて楽しかった」と満足げに語った。

今月2日以降に「さくら」と「つばめ」の一部列車で走らせる。11月27日までの予定。

歓迎を受け、ミッキーマウスとミニーマウスを装飾した九州新幹線の列車に乗り込む招待客ら＝1日午後、JR博多駅（共同）

週末おでかけ情報

EXPOSIÇÃO

6º FESTIVAL DE CERÂMICA – MOGI DAS CRUZES/RP
Onde: Casarão do Chá (Estrada Do Chá cx 05, acesso pela Estrada do Nagao, km 3, Cocuera, Mogi das Cruzes/SP)
Dia 04/08/2019
Horário: 9h às 17h
Ingresso: Entrada Gratuita
Informações: 11/4792-2164 e www.casaraodocha.org.br

ARTE ATUAL – JAMAIS ME OLHARÁS LÁ DE ONDE TE VEJO
Artistas: Éder Oliveira, Regina Parra e Virginia de Medeiros.
Curadoria: Diego Mauro, Luana Fortes, Priscyla Gomes e Theo Monteiro
Onde: Instituto Tomie Ohtake (Rua Coropés 88, Pinheiros)
De 08/08 a 29/09/2019
Horário: 3ª a domingo das 11h às 20h
Ingresso: Entrada Gratuita
Informações: 11/2245-1900 ou www.institutotomieohtake.org.br

TSUYOSHI TANE – ARQUEOLOGIA DO FUTURO – MEMÓRIA & VISÃO
Onde: Japan House São Paulo (Avenida Paulista 52, 2º andar, Bela Vista)
De 06/08 a 13/10/2019
Horário: 3ª a Sábado das 10h às 20h e Domingos e feriados das 10h às 18h
Ingresso: Entrada Gratuita
Informações: 11/3090-8900 www.japanhouse.jp/saopaulo

JAPÃO ANTES E DEPOIS – RIO DE JANEIRO/RJ
EXPOSIÇÃO FOTOGRÁFICA - "TOQUIO ANTES/DEPOIS"
Onde: Caixa Cultural RJ (Rua Almirante Barroso 23, Centro, Rio de Janeiro/RJ)
De 06/08 a 15/09/2019
Horário: 3ª a domingo das 10h às 21h
Ingresso: Entrada Gratuita
Informaçoes: 21/3980-3815

DŌ – A CAMINHO DA SERENIDADE
Onde: Japan House São Paulo (Avenida Paulista 52, Térreo, Bela Vista)
De 29/06 a 04/08/2019
Horário: 3ª a Sábado das 10h às 20h e Domingos e feriados das 10h às 18h
Ingresso: Entrada Gratuita
Informações: 11/3090-8900 www.japanhouse.jp/saopaulo

JULIO GONZÁLEZ – ESPAÇO E MATÉRIA
Curadoria: Elena Llorens
Coleção: Museu Nacional d´Art de Catalunya
Onde: Instituto Tomie Ohtake (Rua Coropés 88, Pinheiros)
De 05/06 a 04/08/2019
Horário: 3ª a domingo das 11h às 20h
Ingresso: Entrada Gratuita
Informações: 11/2245-1900 ou www.institutotomieohtake.org.br

TOMIE OHTAKE BRASA RUBOR
Curadoria: Paulo Miyada
Onde: Instituto Tomie Ohtake (Rua Coropés 88, Pinheiros)
Inicio 07/03/2019
Horário: 3ª a domingo das 11h às 20h
Informações: 11/2245-1900 ou www.institutotomieohtake.org.br

PAVILHÃO JAPONÊS – PARQUE DO IBIRAPUERA
Onde: Pavilhão Japonês (Parque do Ibirapuera – portão 10 - próx. ao Planetário e ao Museu Afro Brasil)
Visitação: quarta-feira, sábado, domingo e feriados
Horário: das 10h às 12h e das 13h às 17h

CINEMA

BUNKYO CINEMA
Filme: Comic Magazine (Komikku Zasshi Nanka Iranai!)
Direção: Takita Yojiro
Ano de Produção: 1986
Legendado: português
Dia: Primeira quarta-feira útil do mês, às 13h (07/08/2019)
Onde: Grande Auditório do Bunkyo (Rua São Joaquim 381, Liberdade)
Capacidade: 1000 lugares
Ingressos: Entrada Gratuita (por ordem de chegada)
Informações: 11/3208-1755 e www.bunkyo.org.br

JAPÃO ANTES E DEPOIS – RIO DE JANEIRO/RJ
MOSTRA DE CINEMA
Onde: Caixa Cultural RJ (Rua Almirante Barroso 23, Centro, Rio de Janeiro/RJ)
Dias 10,11,17,18 e 31/08 e 01/09/2019
Programação das sessões de cinema em http://bit.ly/mesdojapao
Ingresso: Entrada Gratuita (retirar ingresso 1h antes da sessão)
Informaçoes: 21/3980-3815

EVENTO

KARAOKE-DANCE DO NIKKEY CULTURAL
Onde: NIKKEY CULTURAL II (Rua BARAO DE IGUAPE 135 2 ANDAR)
TODAS AS QUINTAS E SÁBADOS
Horário: 8h às 16h (Serve Almoço)
Informações: 11/99857-3845 com Iritsu
De TERÇAS E SÁBADOS
Aulas de Tango com o Prof Hudson Falasca (Curso de Férias)
Informações: 11/94851-3627

41ª FESTA DAS CEREJEIRAS DO PARQUE DO CARMO 2019
Onde: Parque do Carmo – Portão 3 (Av. Osvaldo Pucci s/nº, Itaquera)
Dias 02,03 e 04/08/2019
Horário: Sexta das 12h às 17h; Sábado e domingo das 9h às 17h
Ingresso: Entrada Gratuita

12ª FESTIVAL DOS IMIGRANTES DE JACAREÍ/SP
Onde: Bunkyo de Jacareí (Av Lucas Nogueira Garces 1940, Jd Esperança, Jacareí/SP)
Dias 02,03,04,09,10 e 11/08/2019
Horário: Sextas 18h às 23h; Sábados 10h às 23h; e Domingos 10h às 18h
Ingresso: R$5,00 (Crianças até 12 anos e idosos acima de 65 não pagam)
Informações: 12/3956-1488

EXPO ORIGAMI – RIO DE JANEIRO/RJ
Onde: Centro Cultural e Informativo do Consulado Geral do Japão (Praia do Flamengo 200 sala 601, Flamengo, Rio de Janeiro/RJ)
De 02 a 23/08/2019
Horário: 2ª a 6ª das 9h às 12h30 e das 14h às 17h30
Ingresso: Entrada Gratuita
Informações: 21/2240-2383

AOBA MATSURI
Feira de verduras frescas e comidas caseiras.
Onde: Miyagui Kenjin Kai (Rua Fagundes 152, Liberdade)
Dia 03/08/2019
Horário: 9h às 18h
Informações: 11/3209-3265

BOM ODORI NO MIZUHO – SÃO BERNARDO DO CAMPO/SP
Onde: Praça Tokuyama 2, Cooperativa, São Bernardo do Campo/SP)
Dia 03/08/2019
Horário: 18h

BOM ODORI ARCAG – BRAZLÂNDIA/DF
Onde: Núcleo Rural Alexandre de Gusmão INCRA 6, Brazlândia, Brasília/DF)
Dia 03/08/2019
Horário: 19h
Ingresso: Entrada Gratuita

51ª FESTA DA CEREJEIRA DE CAMPOS DO JORDÃO/SP
Onde: Av Tassaburo Yamaguchi 2173, Vila Albertina, Campos do Jordão/SP
Dias 03,04,10 e 11/08/2019
Horario: 9h às 16h
Ingresso: R$20,00
Informações: 12/3662-2911

17 OKINAWA FESTIVAL
Onde: Clube Manchester (Praça Haroldo Daltro S/N, em frente à Associação Okinawa de Vila Carrão)
Dias 03 e 04/08/2019
Horário: Sábado 11h ás 21h e Domingo 11h às 20h
Ingresso: 1 Kg de Alimento não perecível

11ª JAPAN FEST – ATIBAIA/SP
Onde: Centro de Convenções e Eventos Victor Brecheret (Al Lucas Nogueira Garcez 511, Parque das Águas, Atibaia/SP)
Dias 03 e 04/08/2019
Horário: Sábado 16h às 22h e Domingo 12h às 20h
Ingresso: Entrada Gratuita

V TANABATA MATSURI – FESTIVAL DAS ESTRELAS – FLORIANOPOLIS/SC
Onde: Museu Historico de Santa Catarina – Palácio Cruz e Sousa (Rua Tenente Silveira 343, Flórianopolis/SC)
Dias 03 e 04/08/2019
Horário: 10h às 17h
Ingresso: Entrada Gratuita

11º SAKURA MATSURI 2019 – ACEC CASTRO/PR
Onde: Assoc Cult e Esp de Castro – ACEC (Rua Mario Bertolini 215, Castro/PR)
Dias 03 e 04/08/2019
Horário: Sábado 11h às 18h e Domingo 10h às 18h
Ingresso: 1 Kg de alimento não perecível

KARAOKÊ-DANCE NIKKEY CULTURAL
Pioneiro nessa atividade cujo objetivo é de proporcionar um ambiente familiar onde os freqüentadores cantam suas músicas preferidas e dançam ritmos como o chá chá chá , rumba, forro , samba e country.
Onde: Assoc. Cultural Tokushima Kenjin do Brasil (Av Dr Antonio Maria Laert 275, 100m do Metro Tucuruvi)
Dia 04/08/2019
Horário: 8h às 18h e das 18h às 22h Bailes com música ao vivo.
Informações: 11/99857-3845 com Iritsu

UDON MATSURI
Onde: Osaka Naniwa Kai (Rua Domingos de Morais 1581, Vila Mariana)
Dia 04/08/2019
Horário: 10h às 16h
Ingresso: Entrada Gratuita
Informaçoes: 11/5549-7226

3º FESTIVAL DE SOBREMESAS DE SAMPA
Onde: Associação Hokkaido de Cultura e Assistencia (Rua Joaquim Tavora 605, Vila Mariana)
Dia 04/08/2019
Horário: 12h
Ingresso: Entrada Gratuita

APRENDEMOS CAMINHANDO? SEMANA DO CAMINHAR
Onde: Sesc Avenida Paulista (Av Paulista 119)
Dia 04/08/2019
Horário: 11h30
Ingresso: Gratuito

CURSO

CURSO DE CERÂMICA
Com: MAKOTO FUKUZAWA (Ceramista e Presidente da CCBrás)
Onde: Rua Fidalga 960, Vila Madalena
Dias: Segunda: 14h às 17h; Terça: 18h30 às 21h30; e Sábado: 9h às 16h
Informações: makotoformaefogo@gmail.com

CURSOS DA NIKKEY CULTURAL
Onde: Rua Tomas Gonzaga 95, 4andar, Liberdade
Cursos: Karaokê, Idiomas (japones, inglês e espanhol), teclado, informatica para a 3ª idade e dança de salão. E agora Curso de Tênis de Mesa.
Informações: 11/99857-3845 Iritsu

PALESTRA

PALESTRA GRATUITAS DO CIATE
AGOSTO/2019
08/08 – Quinta-feira – 14h às 16h – "O que é o 5S usado na fábrica da Toyota"
Onde: Ciate (Rua São Joaquim 381, 1andar, sala 12)
Inscrições e Informações: 11/3207-9014

PALESTRA COM TSUYOSHI TANE
Onde:Instituto de Arquitetos do Brasil (Rua Bento Freitas 306, Vila Buarque)
Dia 06/08/2019
Horário: 19h
Participação: Llivre e Gratuita

PROJETANDO INSTITUIÇÕES CULTURAIS: DESAFIOS CONTEMPORÂNEOS.
BATE-PAPO COM TSUYOSHI TANE E THIAGO BERNARDES
Onde: Japan House São Paulo (Avenida Paulista 52, Bela Vista)
Dia 08/08/2019
Horário: 19h
Participação: Gratuita (Ingressos distribuídos uma hora antes do evento na recepção)

PALESTRA "O ESPÍRITO DA CALIGRAFIA" - POR RYUHO HAMANO (JAPÃO)
Onde: Centro Cultural Aliança (Rua Deputado Lacerda Franco 328, Pinheiros)
Dia 08/08/2019
Horário: 19h
Ingressos: Entrada Gratuita
Inscrições: www.eventbrite.com.br

EXCURSÃO

HOTEL THERMAS DE TAIYO – NIKKEY CULTURAL
Saída: 12/08/2019 às 20h da Rua da Glória 503, Liberdade
Retorno: 15/08/2019 após o jantar.
Preço Promocional.
Reservas: 11/3751-9910 Emília ou 11/99857-3845 Iritsu (WhatsApp)

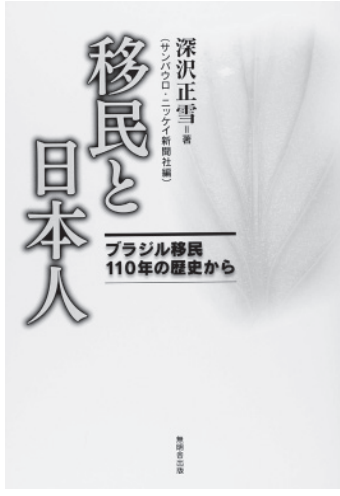
Divulgação de eventos
com Cristiane Kisihara
E-mail: cris_kisihara@hotmail.com
TEL: 11/3340-6060

特別寄稿

『移民と日本人―ブラジル移民110年の歴史から―』を読み解く

―「ブラジル」日本移民研究への新たな視点―

田所 清克
久保平 亮



ニッケイ新聞社編『移民と日本人―ブラジル移民110年の歴史から―』（深沢正雪著、無明舎出版、2019年、アマゾン〈www.amazon.co.jp/dp/4895446530〉）

1908年4月28日、第一回ブラジル日本移民の781名を乗せた移民船「笠戸丸」が神戸港を出帆し、6月18日にサントスに到着してから今年で111年目を迎えた。この間、紆余曲折を経て、今日ではおよそ190万人を擁する世界最大の日系社会がブラジルで築き上げられている。過日7月8日には、こうしたブラジルにおける日本移民の先達たちのこれまでの功績を祝し、連邦上院議会で日本人ブラジル移住111周年特別式典が催された。

この111周年の節目に、サンパウロ・ニッケイ新聞社の編集長、深沢正雪氏（ニッケイ新聞社編）による『移民と日本人―ブラジル移民110年の歴史から―』（無明舎出版）が刊行された。同書は、著者が日本史の「B面」たる移民史を再検討し、ブラジルの日本人移民史を日本近代史上に組み込もうと試みた点において、従来の「ブラジル」日本移民研究とは一線を画しており、極めて興味深い内容となっている。

長年に亘るジャーナリズムの経験と識見を生かし、これまでにも日伯両国に関して膨大な資料を渉猟して『一粒の米もし死なずば―ブラジル日本移民レジストロ地方入植百周年』（無明舎出版、2014年）や『勝ち組―異聞―ブラジル日系移民の戦後70年―』（同、2017年）などの著書を精力的に発表してきた氏は、本書において終始、「なぜ、どのような」日本人が日本を出たのか、いわば日本人移住者の「ルーツ（根源）」をめぐる問いを投げかけている。

そうした問いに対し、著者はアマゾン河よりしくブラジル日本移民のルーツを「源流」（第一章）と「本流」（第二章以降）に、さらに後者は「（隠れた）底流」や「傍流」にも分岐させて論じている。南米には「いつから」日本人がいたのか？　また、彼らはどのように」して南米にやって来たのか？　「源流」では、これらの問いを安土桃山時代にまでさかのぼり、当時の隠れキリシタンやキリシタン大名の存在、また豊臣秀吉のバテレン追放令などキリスト教との関連から浮き彫りにしている。

第二章以下終章までの「本流」は、主に明治時代以降、ブラジル日本移民に関係のある、がしかし従来とは趣を異にする斬新なテーマに挑んでいる。著者もたびたび触れているが、日本人が移民としてブラジルに渡ったのは、人口増加とそれに付随する食糧難という当時の日本の行き詰った社会的状況が背景にあった。拓務局事務官の園田寛によれば、「国土の三分の二が山岳を以て被われ人民の居住にも又農耕にも適せざるものなるが故に其の適住の地を以て見るときは其の人口の稠密なる世界無比と称すべき」（「植民地諸問題」、福岡日日新聞、1918年5月11日付）ほどであったという。

当時の日本は、新たな開墾地などもはや見込まれず、過剰人口かつ人口密度も「世界無比」でありながら、島国ゆえに領土の拡張もできず、八方塞がりであった。したがって、否が応でも国外に目を向けざるをえなかった。他にも戦争や自然災害といった出来事に起因する経済的問題があったが、そのような従来からの説に加え、著者は「戊辰戦争やその後の士族の反乱の激戦地として疲弊した地域」や「自由民権運動の流れの様な明治維新に不満をもっていた人たち」、すなわち「明治維新の〝逆賊〟や、〝負け組〟となった地域」からなる明治時代に不満を抱いていた人々がブラジルに移住したのではないかと推察している。この指摘は一考に値するもので、この方面のいっそうの研究が期待される。

その他、社会的迫害を受けていた階層を、「明治の日本社会の太い傍流」と位置づけ、これまでタブー視されてきた「被差別部落出身者」の言及に踏み込んだり、「沖縄県人」に「潜伏キリシタン」といった、ブラジルに渡った日本移民としての彼らを詳述していることも耳目を引く。なかでも被差別部落出身者のようなデリケートな問題について、著者は記述をためらった様子もうかがわれるが、「ムリを承知であえて」記述に及んでいる。

このような著者の英断があればこそ、我々は日本移民史の「本質的な部分」への理解が可能となる。また、巻末の日本の出来事と世界の出来事を対置した略年表も、本文で論じられた内容が簡素にまとめられており、日本史と世界史（日本移民関係）の間の密接な交流を示そうという著者の意気込みが伝わってくる。

ニッケイ新聞社現編集長の著者は、本書で、同社の元編集長の言、「日本移民は壮大な民族学的な実験だ。（中略）ブラジルという〝人種のるつぼ〟に叩き込まれた大和民族がどんな風に変容していくのかに興味がある」を著者なりに反芻して、特に「『壮大な実験』がどのようにして始まったか』という出だし部分を書くこと」に注力しており、〝実験の結果〟にはあまり触れないと前書きしている。

たしかに「なぜ、どのような」日本人が日本を出たのか、いわば日本人移住者のルーツを探求する姿勢なり意識には一貫性がみられる。が、あえて付言するとすれば、壮大な実験のプロセス、つまり元編集長の述べる「どんな風に変容していくのか」という過程の部分についての説明がいささかなりともあれば、ブラジル日本移民の理解が一段と進んだかもしれないと思うのである。

たとえば〝排日問題〟ないしは〝日本移民排斥問題〟はその好例であろう。これは日本史の「B面」とも移民史の「ウラに潜む真実」とも言い得るもので、アメリカ合衆国をはじめブラジルやペルーなど、当時日本移民の行く着く先々で20世紀前半に発現した。ブラジルにおいてもすでに1912年4月30日付のブラジル新聞（Jornal do Brasil）で、ルイス・ゴメスなる人物によって日本人は、「アーリア人主義の理想と正反対の見苦しい黄色の人種」で、「劣等人種」かつ「同化不能な人種」であるなどと指弾される記事が現れていた。

政治的には、移住後10年にも満たぬ1917年に、少壮気鋭の議員マウリーシオ・パイヴァ・デ・ラセルダが日本人植民地建設の契約内容をめぐって問題化した。その後、1923年にはフィデリス・レイスにより、俗に「レイス法案」と呼ばれる移民制限案が提出され、このときは事なきを得たものの、1930年革命によってジェトゥリオ・ヴァルガスが臨時政府の大統領に就任した前後から、種々の要因でブラジル日本移民の風向きが悪くなり、ついに1934年には「外国移民二分制限法」が可決・施行されるに至った。

こうした排日問題のような衝突は、ふつう、なにがしかの因果関係があって生じるものだ。初期の日本移民に関しては、言語面のみならず、風俗・習慣のうえで著しい相違があった。日本移民は勤勉だが一方で野蛮かつ非文明だと評され、三浦鑿をはじめ日本人側から自国移民の素質改善の声が上がっていたのも事実である。（大阪朝日新聞、伯西移民と素質改善の要〈上・下〉、1924年6月21日―22日付）現在の約190万人もの日系社会がブラジルに築かれた基底には、かつての筆舌に尽くしがたい困難を乗り越えた日本移民の先達たちの不断の努力があったとともに、その裏には排日問題という日本人にとってはつい目を背けたくなるような出来事もあったということを忘れてはならない。

本書において著者は、過去から現在への連続性の中に、いわばブラジル日本移民史における〝空隙〟として、「ブラジルにいる間の日本人移民とその子孫の活動」を挙げている。とすれば、著者が目指した「日本移民という壮大な実験の出だし部分」の考究は、その空隙を埋める重要な糸口となるに違いない。

しかし、先の空隙そのものを埋めるためには、やはり〝ブラジルにいる間の〟日本人移民とその子孫の活動について丹念に史的考察を行い、検討する必要がある。この点は、「ブラジル」日本移民研究の今後の課題であろう。

望蜀の言ながら、惜しむらくは参考文献が列挙されていなかったこと。加えて、私的関心ながら、ブラジルの日本移民と外国移民との関係（史）への若干の論及があってもよかったように思う。しかしながら、これらはなんら本書の価値を傷つけるものではない。

いずれにせよ、著者が本書の中で多岐に亘って論じる内容を、評者が遺漏なく論評するのは容易なことではない。が、従来にない視点から日本移民史を通観・俯瞰し、こんにち日本で働く日系ブラジル人を含めた外国人労働者の問題にまで結び付けて、移民の有り様を問うている。そのうえで、移民史が日本近代史のなかで位置付けられれば、日本人の「島国意識」にも変化が生じるだろうとも推察する。

ともあれ、この書が起爆剤として移民史研究が加速度的に発展することが期待される。この意味において、同書『移民と日本人―ブラジル移民110年の歴史から―』は、ブラジルに関心を寄せる者にとって好個の文献であり、読みごたえがある。

《ご参考までに》
氏名：田所清克
肩書：京都外国語大学名誉教授、ブラジル民族文化研究センター主幹
専門：民族地理学を基盤としたブラジルの文化および文学

氏名：久保平亮
肩書：大阪大学大学院博士前期課程を経てブラジル民族文化研究センター主任研究員
専門：ブラジル地域研究、特にブラジル近代史

（※編注＝この『移民と日本人―ブラジル移民110年の歴史から―』は8月1日現在、日本から郵送中で、ブラジルに届いていない。到着し次第改めてお知らせする）

（132）

1945年6月6日、沖縄戦がアメリカ軍の勝利におわり、ブラジルは日本との開戦を発表した。奇妙な言葉や習慣をもつ日本人はブラジル人の敵となったのだ。路上でのいやがらせが始まり、特に敗戦がわかってから、それが顕著になった。

「ジャポンが戦争に勝ったのなら、どうしてあっちに帰らないんだ」とブラジル人は日本人のおかしな発音をまねしてからかい、他の者は、「おまえたちが世界を牛耳るとでもいうのか」とあざ笑った。

真珠湾攻撃以来、「裏切り者、ジャポン」とよばれてきた正輝はこの新しいいやがらせを気にしなかった。それより、日本の勝利は疑う余地もない真実であると信じきっている日系社会をかけめぐる情報によって、問題が起きることを懸念した。正輝にしても、また多くの移民にしても、日本が負けるなどありえない。まったく信じられない。いままでに受けた教育、いままで信じてきもろもろから日本が負けるなどありえないことだった。

嘆き悲しむときではない。「天皇陛下、ばんざい！」と叫ぶべきときだ。

習慣を重んじる沖縄人渡真利成一もそのように考えたひとりだった。渡真利は成すべきことを成すべきときに実行する男だった。彼はすばらしい統率力をもっていた。重要と思われることは見のがさなかった。書きとめなくてはならないときは几帳面に書きとめ、それを用紙に書くときには分りやすく書いた。たとえば、ある組織を紹介する場合、組織図を画き、順序よくていねいに読みやすい字でそれぞれの役目を記入し、下に各責任者の名前を書いた。

この几帳面な性格は生まれつきで、悲しみにつけ、苦しみにつけ、喜びにつけ日記に書きとどめた。

8月15日の日記には次のように書かれている。

「本来なら喜ばしき日といえる。しかし、アメリカから入った偽のニュースにより、日本の無条件降伏の話しを耳にする侮辱的な一日を送った。泣き通して眠れぬ夜を過ごした。よく考えると、納得いかない点ばかりだ。明日、16日朝、じいさんのところへ行ってみよう。きっと、安心できる話しが聞けるだろう。ようするに、日本は大勝利したのだ。うれし涙が止まらない。嬉しい。それ以外の考えなど浮かばない」

日記にある「じいさん」とは退役陸軍中佐吉川順治氏を指す。

彼は1944年9月以来、日本人農業者を扇動した容疑で獄中にあった。吉川は獄中、日本軍の勝利の話しを耳にし、そのことを渡真利に告げ、彼を説得した。

正輝にしろ渡真利にしろ、大部分の日本人はラジオ放送や噂で、終戦のことを聞いていた。敗戦を嘆いたが、戦争の終局については疑問をもっていた。そしてその後あの情報は連合軍が移民たちの士気を萎えさせるためにしかけたのだと解釈した。8月15日の前日には次のように記している。

「日本の大勝利が流れ始めた。その日、出所不明の日本敗戦はデマで、日本は勝利を収めたという情報ではなく、同胞をだますための情報で、以後このようなことが続いた。『敗戦を信じたくない』という考えがそうさせたのだ。敗戦を否定し、日本が勝利したという気運は各地から生じた。デマがどこからでたのかは分らない。だが、一か所からではなく、各地から生じたのは確かなのだ」

アリアンサの歴史を知る 決定版
日語版も好評販売中
両語版特別価格!!
木村 快著
『共生の大地アリアンサ』
読もう!! 子や孫に読ませよう!! 伝えよう!!
【日語版】~~R$70~~ → R$50
【ポ語版】~~R$50~~ → R$40
特別価格 両語版 R$80※
ご注文 お問い合わせ先
詳しくはニッケイ新聞社 11-3340-6060 担当マリアまで郵便でのご注文の方は、●太陽堂 ●フォノマギ ●高野書店
●ニッケイ新聞社 11-3340-6060 ●太陽堂 11-3208-6588 ●フォノマギ竹内書店 11-3104-3399 ●高野書店 11-3209-3313
※両語版特別価格は本紙編集部での購入に限ります
Apoio Cultural 協賛 JAPAN FOUNDATION Aliança Cultural Brasil-Japão

SCANDALIO lounge
世界で最高の夜をあなたに
5つの最適な調和された空間…
ダンスホール
スシバー付きのレストラン
バンガロー風のレストハウス
パーティー会場
スペシャルシート
豊富なオプションを、お楽しみ下さい。
どなたの口にも合う極上のお食事を用意しております。
快適で洗練された空間が、あなたを包み込む…
多くのエンターテイメントでお楽しみ下さい Tel.: (11) 2066-2700
Rua Coronel Diogo, 1199 - Aclimação - São Paulo - SP

www.nikkeyshimbun.com.br
ニッケイ新聞 NIKKEY SHIMBUN
【営業時間】
月曜～金曜日：祝日を除く
午前9時～午後4時
(11) 3340-6060
Rua da Glória, 332
Liberdade
CEP 01510-000
São Paulo - SP
【購　読】
nikkeyshimbun@yahoo.com.br
【広　告】
anuncio@nikkeyshimbun.jp

日本移民の為に生涯を捧げた苦労の歴史 上塚周平の生涯
História do UETSUKA SHUHEI
ポ語版特別価格 R$ 25,00
ニッケイ新聞社 15周年記念
お問合せ・お申込は(11)3340-6060
"RYO MIZUNO" - Precursor da Imigração Japonesa -
ポ語版特別価格 R$ 25,00
ポ語版に日本語を併記
移民事業の先鞭を付けブラジルをこよなく愛した水野龍の伝記

伯国東京農大会 創立50周年盛大に祝う

日本、隣国から慶祝団来伯
「家族同様の絆がある」

記念式典の出席者

伯国東京農大会（東京農業大学校友会ブラジル支部、原島義弘会長）は7月28日午後、同会の創立50周年を祝し、記念式典を聖市サウーデ区の同会会館で行った。日本から同農大教員や、アルゼンチン（亜国）、パラグアイの農大会校友も来伯し、約70人が出席。先亡者の軌跡、伯国での校友の繁栄を確かめ合った。

日本から同農大の新部昭夫副学長ら5人が来伯。村藤修亜国農大会会長、合田義雄パラグアイ農大会会長、在聖日本国総領事館から野口泰総領事、国際協力機構（JICA）ブラジル事務所の佐藤洋史所長、ブラジル日本文化福祉協会の山下譲二副会長も祝福に駆けつけ、学歌斉唱、ケーキカット、農大銘酒の鏡開きをし、創立50周年を盛大に祝った。

原島第11代会長は挨拶で「時代の激しい変化の中、創立50周年を迎えられたのは、大学と会員の皆さんのおかげ」と感謝の意を表し、「農大会が今後どうするべきか考える時は、まず先人の功績を振り返る。そこに道しるべが示されている」と歴代10人の会長の功績を確認した。

その上で「先輩校友は伯国の地域社会、日系社会の発展に大きく貢献しながらも、派手ではなくこつこつと精一杯生きてきた。この生き方を私達も歩んでいくことができれば、伯国農大会の将来は盤石だと思う」と語りかけ、出席者は大きな拍手を送った。

山下文協副会長は「今年で111年を迎えた日系社会の根底には農業があり、そこに農大の貢献もあった」と称賛。他にも大澤貫寿農大理事長、高野克己学長による祝電も読み上げられた。

祝賀会で同窓との思い出話で盛り上がった、パラグアイから出席した合田さん（74、愛知県）は、「農大会がなかったら日本へ帰っていたと思う。ここには家族同様の絆がある」と話した。

グアタパラ移住地で生まれ育ち、ポンペイア市の西村農業技術専門学校を卒業後、農大卒業生の伯父の勧めで農大に4年間留学していた近藤和彦フェルナンドさん（41、二世）も、「先輩に会いたくて農大会に来ている。自分もそうしてもらったように、今後は後輩を育てていきたい」と世代を超えた結束の強さを見せた。

同日午前にはグアルーリョス市のサンジューダス・タデウ墓地にある農大慰霊碑前で、第47回慰霊祭を挙行。約50人が参列し、同学の先亡者を弔った。

現在の伯国農大会会員は110人。伯国内では同会が日本の学卒者団体で唯一、法人登録されている。同会は、1969年に佐藤貫一氏が伯国支部として設立。同氏が初代会長を務めた。78年に旧農大会館「東京農業大学ブラジル研修センター」を設置し、79年に伯国東京農大会として法人化。04年には現在の会館が建設され、移転した。現在も農大の実習生や留学生の受け入れ先として使用されている。

JHで平和週間10、11日
広島や長崎の被爆体験や文化発表

ブラジル広島文化センター（吉広ロベルト貞夫会長）、ブラジル長崎県人会（川添博会長）は、「平和週間」と題し、原爆写真展や原爆に関する講演、上映会などを10、11両日、聖市のジャパン・ハウス（Avenida Paulista, 52, Bela Vista 以下JH）で行う。入場無料。

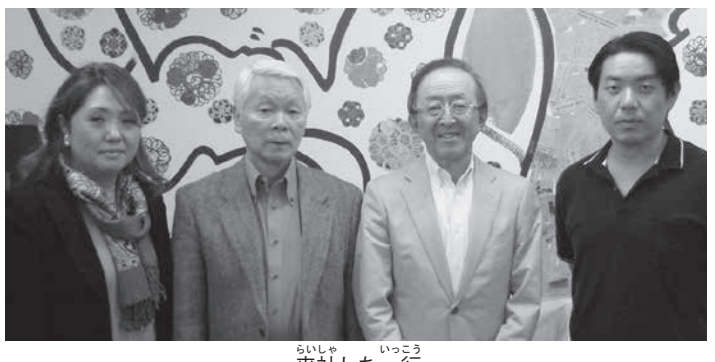
10日は午後1時から8時まで、11日は午前10時から午後6時まで様々なプログラムが行われる。写真展は2日間終日開催。

10日午後2時50分からは、被爆者平和協会の被爆体験者らによる被爆証言が行われる。他にも、長崎市と姉妹都市提携を結ぶ聖州サントス市が平和への取り組みを発表したり、紙芝居の上演、両県・市の知事・市長によるメッセージも発表される。

11日には長崎県の郷土芸能の龍踊りや、盆踊り、郡上踊りなどの日本全国の伝統芸能に加え、健康体操も披露される。

会場では、被爆者協会が核兵器廃絶の署名も呼びかける。署名は現在世界中で集められており、最終的に国連に届けられることになっている。

川添さんは「伯人や若者、原爆を知らない人にも来てほしい。原爆を知ること、忘れないことが重要。皆が忘れたらまた1949）まで。


来社した一行

商議所
元伯国代表サンパイオ氏講演
「大成するにはライバルが必要」

ブラジル日本商工会議所（村田俊典会頭）は「7月定例懇親昼食会」を7月19日、聖市のチボリ・モファレジ・サンパウロホテルで開催し、約130人が出席した。サッカー元伯国代表でJリーグでも活躍したセーザル・サンパイオ氏、ブラジリア連邦大学の山下ヤエコ教授が講演を行った。

サンパイオ氏は「成功＝才能＋克服」と題し「大成するにはライバルが必要だ」と語った。幼少期、大麻常習者もあちこちにいる貧民街で、おばから厳しいしつけを受けて育った。その境遇を抜け出そうという強い気持ちが努力する動機になった。

同氏はサッカー元伯国代表で、Jリーグでも横浜フリューゲルス（現横浜F・マリノス）などで活躍。現在はサッカー解説者の他、ジャパン・ハウス運営委員も務め、聖州内のサッカークラブの会長として、サッカーを通じた貧困家庭の子供の育成などを行っている。

山下氏は「エレクトロモビリティ―議員戦線とその課題」と題し、その事業の可能性、政府の動向を説明。「エレクトロモビリティ」とは全ての電動車両及び、車両をサポートする技術や製品、サービスなど、さらには電動車両の利用推進を目指す活動を指す。

同氏によれば、現在その業界では、バッテリーなどの新素材開発、新エネルギー車の効率化を目的とした事業、電気及び水素自動車に関する開発など大きなビジネスチャンスが存在する。

伯国では現在自動車輸出が低迷傾向にあり、議員約180人が連盟を結成し、国際的な競争力強化の政策提言を行っているという。

他、会員企業の代表者交代の挨拶では、MUFGバンク・ブラジルの福元信義新頭取、木下誠前頭取両氏と、南米公文の渡部一徳新社長が離着任の挨拶を行った。

講演を行うサンパイオ氏

沖縄出身の人気バンドHY
伯国で初公演！ 11月8日

沖縄県出身で、日本では若者から絶大な人気を誇るバンド「HY」が11月8日午後8時から、聖市リベルダーデ区の文協大講堂（Rua Sao Joaquim, 381）で一夜限りのコンサートを行う。Zai Liveプロダクション主催。チケットはサイト（show-hybrasil.com.br）で購入可能。

HYがブラジルで公演を行うのは初めて。二度目の公演となるペルーと合わせて、11月8～10日まで初の南米ツアーを決行する。

来年で結成20周年を迎えるHYは、沖縄県うるま市出身の男性4人と女性1人のバンド。友人同士だったメンバーが2000年に結成し、今まで紅白歌合戦に二度出場している。

セカンドアルバムは、日本で最も有名なCD販売ランキング、オリコンチャートで4週間連続1位を獲得。以降、コンサートの規模に関わらずチケットが即日完売する人気ぶりを発揮している。またアジアや北米でもコンサートを行うなど、海外でも活躍中だ。

当地では琉球國祭り太鼓が曲を使用したことによって認知度が広がった。主催者によれば、HYのメンバーは「南米ツアーのために特別なパフォーマンスを準備している」と語っている。

チケットは170～700レアル。席に限りがあるが、1キロの保存食もしくは衛生用品を持参すれば半額でチケットが購入できる。

問合せはZai Liveプロダクションのロドリゴさん（11・9538・7643）まで。

沖縄県出身の人気バンド「HY」

大耳小耳

商議所の昼食会で、サンパイオ氏は日本の陸上競技選手、故宮崎秀吉さんの動画を紹介した。宮崎さんは92歳から陸上競技を始め、2015年、105歳の時にマスターズ陸上競技記録会で100メートル（105～109歳の部）に出場、42秒22の世界記録を樹立した。動画には宮崎さんが世界記録を達成し、ウサイン・ボルトのポーズを真似するシーンがあり、サンパイオ氏は「9秒58を超えるのは難しいが、（105歳での）42秒42を超えるのも同じくらい難しい」と脱帽。また宮崎さんのことが報じられる様子から、日本人が年長者を敬う精神を学んだという。サンパイオ氏も日伯サッカー界で、宮崎氏のように末永く活躍してほしいところ。

◎

読者から今週末に行われる「おきなわ祭り」における、宮沢和史さんの出演時間を教えてほしいという問合せがあった。プログラムによれば、出演時間は3日（土）は午後8時半、4日（日）は午後6時40分の予定。日系アルゼンチン人の歌手・大城クラウディアさんも同じ時間に出演する。バンド「ザ・ブーム」のボーカリストであり、コロニアでも愛唱されている『島唄』の披露が期待される。この機会をお聴き逃しなく！

◎

日本の山口ロータリークラブは山口県人会を通じて、伯国日系福祉団体に10万円相当の寄付を贈ったが、伊藤会長によれば、外国への援助活動には問題もつきものだそう。同クラブは以前、インドやアフリカへの援助も行ったが、金品が紛失するなど、受取先に届かないトラブルがあったという。「伯国には県人会があり、信用できる」という理由から、伯国への支援は続いている。日本人の誠実さが日伯をつなぎ、伯国の助けとなっている。今後も続くことを願うばかりだ。

山口ロータリークラブ
福祉施設に10万円寄付

寄付金で購入された物品と福祉施設代表者ら

山口ロータリークラブ（波多野義憲会長、山口県山口市所在）は、今年もブラジル山口県人会（伊藤紀美子会長）を通じて、高齢者福祉施設「憩の園」（佐藤直・救済会会長）と託児所「ジラソル」（和田アンナ所長）に10万円相当の寄付を贈った。

日本から贈られた寄付金で山口県人会が、日本米420キロ、粉石鹸約160キロ、液体石鹸50リットル、塩素漂白剤24リットル、洗剤1・8キロを購入。7月18日、同会会館で2団体に物品贈与式が行われた。物品は2団体で分けられ、ジラソルからは和田所長により、他の託児所にも物品が届けられる。

佐藤会長（76、三世）は「施設入居者は半数が一世で、日本米はとても喜ばれる。助けてくれる人がいるのだから、もっと頑張らないと」と笑顔を見せた。

山口ロータリークラブは、1994年から伯国の非日系孤児院に寄付金を贈り、05年からは希望の家福祉協会への寄付を始め、10年ごとに寄付先を変えながら援助を続けている。

訂正

1日付け本面の記事中に誤りがあった。ラーメン職人・SHINさんのインスタグラムは、正しくは「brazilamen」だった。お詫びの上、訂正する。

PERFUMARIA TAKEO たけお店 化粧品専門 二九四一・九二三三

MIRUNA'S MASSAGEM
Clínica 5 Estrelas
5つ星クリニック
TEL: (11)5041-9023

いろんな痛みと病気に 針灸 ACUPUNTURA
Dra. MONICA Y. MORISHITA
Biomédica 生物医科学
Pós-Graduação em Acupuntura
大学院で針灸学を専攻いたしました
電気鍼療法 もぐさ、レーザー 磁石による治療
体重減少にも効果的
LOCAL: Rua Thomaz Gonzaga, 95 - M (Iwate-Kenjinkai)
Liberdade - São Paulo - SP (perto do metrô Liberdade)
CONTATO: (11) 99236-3956 "Recado no WhatsAPP"
E-mail: monicamorishita@yahoo.com.br

Dinho's
O CLÁSSICO DA GRELHA
日系コロニアの皆さまへ
毎週金曜日に、寿司と刺身をどうぞ！
昼食、夕食ともに
海水魚、淡水魚をすべて取りそろえたブフェー
また毎週水曜日と土曜日は
前菜サラダー式と、デザートまで含めた
グランド・ブフェー・フェイジョアーダ
―― お待ち致しております ――
AL. SANTOS, 45 - ☎ 3016-5333

日本人の特質
私達がブラジルのために出来る事とは、
〝日本人の特質〟を伝承する事である。
誠実さや勤勉さは如何にして、生まれたか
ポルトガル語でわかりやすく解説
子孫繁栄に欠かせぬ一冊

販売価格 R$20
ご注文・お問い合わせ先
詳しくはニッケイ新聞社編集部まで
電話＝（11）3340-6060

VENDA em BANCA

Nikkey Shimbun
ニッケイ新聞

ANO XXII – Nº 5296 | SÃO PAULO, SEXTA-FEIRA, 2 DE AGOSTO DE 2019 | R$ 4,00

1949 TUNIBRA TRAVEL 70 1949-2019
Consulte nossos SUPER descontos
Viagens para o Japão Desde 1949
(11) 3346-8200 www.tunibra.com.br
Pça da Liberdade, 170 - Liberdade - São Paulo

阪神、しぶとく競り勝つ

今季初登板の藤浪救う
広島、迫力の攻めで勝利

中日に勝利し、ナインとタッチを交わす阪神・藤浪（中央）＝甲子園（共同）

プロ野球

【共同】阪神がしぶとく得点し、2カード連続で3連戦に勝ち越した。救援投手陣も踏ん張って今季初登板の藤浪を救った。

0―0の五回に北條3号ソロで追い付き、六回はマルテの適時打で勝ち越し、八回にも1点を加えて接戦を制した。

制球難からピンチの連続だった藤浪は0―0の五回に1点を失い、この回途中で降板した。

再び2軍行きが決まったものの、藤浪が復活に向けて歩み始めた試合をチーム一丸でものにした。

首位に4差七回に集中打で一挙4点

1―1の七回、迫力ある攻めで広島が勝利を引き寄せた。持ち前の機動力を絡め、打者9人で一気呵成に襲いかかる。4点を勝ち越し、首位巨人に4ゲーム差とした。

先発野村が2死二塁のピンチをしのいだ直後の攻撃だった。無死一、二塁で「必死に食らい付いていった」という代打磯村が放った適時打など、5連打を含む6安打を集中した。

九回は代打板倉が、プロ初本塁打の3ランで付き放した。

◇セ・リーグ（1日）

（広島11勝5敗1分け）　東京ド
広　島 0 0 0 1 0 0 4 0 3 ｜ 8
巨　人 1 0 0 0 0 0 0 1 0 ｜ 2
▽勝　野村13試合5勝3敗
▽敗　メルセデス16試合6勝6敗
▽本　松山4号①（メルセデス）坂倉1号③（大竹）

（中日11勝6敗）　甲子園
中　日 0 0 0 0 1 0 0 0 1 ｜ 2
阪　神 0 0 0 0 1 1 0 1 × ｜ 3
▽勝　島本43試合4勝1S
▽S　藤川38試合4勝1敗3S
▽敗　ロメロ16試合6勝8敗
▽本　北條3号①（ロメロ）

（DeNA11勝7敗）　横浜
ヤクル 0 1 2 0 0 1 0 0 0 ｜ 4
DeN 1 0 1 0 0 0 0 0 0 ｜ 2
▽勝　山田大8試合4勝
▽S　マクガフ47試合4勝1敗5S
▽敗　大貫13試合5勝4敗
▽本　村上21号①（大貫）

◇パ・リーグ（1日）

（ソフトバンク9勝8敗）メット
ソフト 2 0 3 0 3 1 2 0 0 ｜ 11
西　武 0 3 4 2 0 0 1 0 0 ｜ 10
▽勝　松田遼35試合2勝1敗
▽S　森34試合2勝3敗21S
▽敗　ヒース29試合1勝3敗2S
▽本　デスパイネ24号②（松本航）デスパイネ25号①（森脇）上林11号③（小石）

（9勝9敗）　札幌ド
楽　天 1 0 1 0 0 0 0 0 1 ｜ 3
日ハム 1 0 0 0 0 0 0 0 0 ｜ 1
▽勝　辛島16試合7勝5敗
▽S　松井46試合1勝5敗28S
▽敗　有原17試合11勝5敗
▽本　浅村23号①（井口）

（オリックス8勝7敗）　マリン
オリク 0 0 1 0 1 0 0 4 0
ロッテ 2 0 0 0 1 2 0 1 0
0 0 0 ｜ 6
（延長12回）　0 0 1x ｜ 7
▽勝　東妻7試合1勝
▽敗　エップラー23試合4勝4敗
▽本　マーティン3号①（K―鈴木）宗1号②（唐川）

セ（1日）	勝	敗	分	率	差
巨人	53	41	1	.564	
DeN	50	45	3	.526	3.5
広島	50	46	3	.521	0.5
阪神	45	48	5	.484	3.5
中日	43	53	0	.448	3.5
ヤクルト	38	58	2	.396	5.0

パ（1日）	勝	敗	分	率	差
ソフトバンク	53	42	4	.558	
日ハム	51	43	4	.543	1.5
西武	49	46	1	.516	2.5
楽天	48	46	2	.511	0.5
ロッテ	46	48	2	.489	2.0
オリック	41	51	5	.446	4.0

五輪「全く想像できない」
サニブラウン、9秒8視野

【共同】東京五輪の陸上男子100メートルは来年8月1、2日に行われる。9秒97の日本記録を持つ20歳のサニブラウン・ハキーム（米フロリダ大）が故郷での五輪と約2カ月後の世界選手権（ドーハ）に向けた抱負を語った。

―東京五輪まで1年を切った。

「五輪はテレビで見ることが多かったので、実際のイメージは全然湧かない。本当に東京で五輪ができるのかなってくらい想像できない」

―新国立競技場が完成間近。

「まだ全然見ていない。昔の国立のイメージしかない。（6月の日本選手権で帰国した際に）実際に見に行けば良かったなと、ちょっと後悔している」

―リオデジャネイロ大会は出られなかった。

「五輪を狙える位置にはいたが、けがをして出られなかった。でもまだ17歳だったので、そんなに焦りはなかった」

―印象に残っている五輪は。

「北京で（ウサイン）ボルトが両手を広げながら（100メートルを）走っている場面が一番印象的。五輪に出ている自分はまだ想像できない」

―この1年をどう過ごす。

「今年をいい形で終えられれば、来年にもいい流れでつなげていける。まずは世界選手権でしっかり結果を残したい」

―世界選手権で目指すのは。

「前回（2017年）に比べて積み上げてきたものが全然違う。米国の大学のシーズンでいろいろな経験があったので、それを生かせれば。自己ベスト更新が第一」

―タイムについて。

「やるべきことをやれば、9秒8くらいは出るとコーチも言っている。あまり気にしてはいないが、今より速いタイムで走れると思っている」

―対戦したい選手は。

「決勝にいけば結局（トップ選手は）全員いる。競技者として成長しているので、1ラウンドごとに自分の持ち味を出せれば、楽しめる部分も増えてくると思う」

―日本記録保持者として出た6月の日本選手権は200メートルとの2冠。

「2年前の大阪も人は多かったけど満員ではなかった。今年はびっくりした。（自分が）日本陸上界の顔っていう感じはない。でもやっぱりお客さんがいた方が楽しい」

―7月のレースは背筋などの痛みで欠場した。

「体はケアしながら何カ月もやってきたが、大きな試合が続いたので疲労が残っていた。大きなけがではない」

サッカー女子W杯、出場国数を拡大
日本立候補の2023年大会

【ロンドン共同】国際サッカー連盟（FIFA）は7月31日の理事会で、日本が大会招致に立候補している2023年女子ワールドカップ（W杯）から出場チーム数は24から32に拡大すると決めた。インファンティノ会長は6～7月のフランス大会の成功を拡大理由に挙げ、競技水準向上や集客の手応えから「今は女子の成長を促す方策を打つべき時」と強調した。

次回23年大会に立候補しているのは日本のほか、アルゼンチン、オーストラリア、北朝鮮との共催に関心を示す韓国など9協会。招致プロセスは一部変更となり、8月に立候補の意思を再確認し、新規の立候補も受け付ける。登録期限は12月で、開催地の正式決定は当初予定の来年3月から5月にずれ込む。

招致計画の練り直しを余儀なくされる日本協会の田嶋幸三会長は1日、沖縄県金武町で「立候補が終わった段階で変わるのはいいことではない。それはFIFAにも伝えた。（今後について）簡単に決められることではない」と当惑気味に語った。女子大会を男子に近づける拡大の流れや理念には賛同しているが、24チーム参加で準備を進めていた中での対応は容易ではない。

予算の見直しや試合会場、キャンプ地の確保も新たな調整が必要になる。関係各所との調整に入る田嶋会長は「全ての選択肢を持ち、柔軟に構えたい」と慎重に話した。

「チャレンジし続けたい」
欧州10季目のGK川島

【共同】欧州で通算10シーズン目を迎えた。サッカーのフランス1部リーグ、ストラスブールと新たに2年契約を結んだ36歳のGK川島永嗣は「欧州に10年もいられるなんて考えもしなかった。まだ自分がここでやれるというのはありがたいし、チャレンジし続けたいという気持ちが強い」と、すっきりした表情で語る。

同じフランスのメッスから移籍した昨季はベンチ外が多く、リーグ最終戦でようやく初出場にこぎ着けた。日本代表でワールドカップ（W杯）に3度出場した守護神は「試合に出られるところという観点だけで考えたら、選択肢は広がるかもしれない」と移籍の可能性とも向き合った。

若手選手に交ざって参加した南米選手権の後にはJ1神戸入りも取り沙汰された。「日本に帰ることは自分の中で悪いとは思っていない」と悩んだが「一年一年が勝負の中で、情熱を注いでやれることは何か。まだ欧州でやりたい」という気持ちが上回った。

ストラスブール残留の決断には欧州リーグの存在も大きかったという。昨季は1歳年下の長谷部誠（アイントラハト・フランクフルト）が同大会で4強入り。大いに刺激を受け「36歳になって挑戦できるのはすごく貴重。挑戦しないわけにはいかない」と腕をぶす。

「競争は厳しいと思うし（昨季と）状況は簡単には変わらない」と定位置確保への道の険しさを覚悟しつつ、ベテランGKの新たな戦いが始まった。

初先発は辛めの自己採点
右SBで定位置狙う冨安

【共同】サッカーのイタリア1部リーグ（セリエA）の古豪ボローニャに加入した冨安健洋が7月29日、オーストリアのキッツビューエルで行われたシャルケ（ドイツ）との練習試合で新天地での実戦初先発を果たした。

右サイドバックで約60分間出場したが「（アピールの）チャンスだった。もっとやらないといけなかった」と辛めの自己採点だった。

日本代表ではセンターバックの主力を務める20歳。ボローニャではJ2福岡時代にも着けた背番号14のユニホームをまとい、これまでほとんど経験のない右サイドバックで試されている。

攻撃時は左サイドバックが極端に高い位置を取るため「3バック」になる可変式システム。攻守の切り替えで後手に回って失点した場面もあり、冨安は「前半はポジショニングに違和感を感じながらやっていた」と改善の必要性を自覚する。

入団記者会見では「僕がいれば（チームを）安心させられるような、存在感のある選手になりたい」と理想のDF像を語った。

イタリアのメディアによると移籍金は8億円超。シントトロイデン（ベルギー）からステップアップし、来年の東京五輪でも守備の柱と期待される冨安は「価値を認めさせていかないといけない。毎日の練習から勝負」と定位置奪取へ懸命に汗を流す。

米大リーグ
田中2失点、平野は5敗目
大谷は出場機会なし

【ニューヨーク共同】米大リーグは7月31日、各地で行われ、ヤンキースの田中がニューヨークでのダイヤモンドバックス戦に先発して4回0／3を5安打2失点、4三振3四球で勝敗は付かなかった。7勝6敗のままで、チームは7―5で勝った。

ダイヤモンドバックスの平野は3―2の七回途中から4番手で投げ逆転2ランを浴びるなど1／3回を3安打3失点で5敗目（3勝）を喫した。

エンゼルスの大谷はタイガース戦で出場機会がなかった。チームは1―9で敗れた。

平野、痛恨の一発

ダイヤモンドバックスの平野は痛恨の一発を浴び、連続試合無失点が6で止まった。七回2死二塁で登場し、代わりばなの初球を9番ロマインに左翼席へ運ばれて逆転を許した。フォークボールが落ち切らず「甘かった」と悔やんだ。

試合途中から雨が降り続く厳しいコンディション。それでも「それに合ったピッチングをしないといけないけど、この試合はできなかった」と厳しい表情だった。

田中、一定の手応え　四回まで無失点

思い通りの結果には届かなかったとはいえ、一定の手応えを得た。前回登板で自己ワーストの12失点を喫したヤンキースの田中は四回まで無失点。球数がかさんで早めの交代となったが、ここまで致命傷になっていた大量失点は許さなかった。「まずまず自分の思い描いていた球は投げられていた」とうなずいた。

登板翌日から3日続けてブルペンで投球する異例の調整をして臨んだ。安定しなかったスプリットは握りを変え、フォークボールに近いイメージで使った。四回は無死一、二塁とされながらも、そのスプリットで三振を奪うなどして本塁を踏ませない。長打を許さず「今日だけでは意味がないけど、そこは結果に少し出たかなと思う」と、好材料と受け止めた。試合中にトレード期限を迎えたチームは、うわさされていたような大型補強を行わなかった。ブーン監督は「ロッカーを見渡すと、優勝できる戦力は整っている」と自信を示した。故障者が続出する苦境にあって、経験ある主力の奮起は不可欠。田中の完全復活が待たれる。

久保建、FWで途中出場
サッカー、レアル強化試合

【ミュンヘン共同】サッカーのスペイン1部リーグ、レアル・マドリードの久保建英は7月31日、ミュンヘンで行われたフェネルバフチェ（トルコ）との強化試合で4―3の後半28分から出場し、2トップの一角でプレーした。チームはベンゼマのハットトリックなどで5―3で勝った。

Rマドリードは8月7日に南野拓実らのザルツブルク（オーストリア）、11日にローマ（イタリア）と強化試合を実施。17日のリーグ開幕戦でセルタと対戦する。

久保建は前日のトットナム（イングランド）戦に続いて、この日も惜しいシュートを放った。後半43分、中央から右足で放った低い弾道の一撃はGKに阻まれた。主力の多くが長い時間プレーし、久保建の出番は限られたが懸命にボールを追った。

ジダン監督は18歳の久保建の今後について「マドリードに戻ってから話し合う。Bチームでプレーしながら、トップの練習にも参加するのがいいのではないかと考えているが、チームの状況次第」と述べた。

甲子園練習が開始
明石商や履正社が調整

甲子園練習が始まり、グラウンドへ駆けだす花巻東ナイン（共同）

【共同】第101回全国高校野球選手権大会（6日から16日間）の出場校による甲子園練習が1日、甲子園球場で始まった。春の選抜大会4強の明石商（兵庫）や履正社（大阪）など11校が調整した。

練習時間は各校20分ずつ。49校の先頭を切って登場した花巻東（岩手）は打撃練習などを行い、45年ぶりの出場となる秋田中央はノックなどで、グラウンドの感触を確かめた。初出場の飯山（長野）は軽快な動きを見せた。

甲子園練習は3日まで行われる。2日は春の選抜大会準優勝の習志野（千葉）や東海大相模（神奈川）智弁和歌山など25校が登場する。

組み合わせ抽選会は3日に開催される。

昨年王者の安昌林が欠場へ
世界柔道、在日3世

【共同】昨年の柔道世界選手権男子73キロ級で初優勝した在日3世で韓国代表の安昌林（25）が首の負傷により、8月25日開幕の世界選手権（日本武道館）を欠場することが1日、関係者の話で分かった。

背負い投げを得意とし、今年の世界選手権では2016年リオデジャネイロ五輪王者の大野将平（旭化成）の最大のライバルとみられていた。

JORNAL ニッケイ新聞 NIKKEY SHIMBUN
EDITORA JORNALÍSTICA UNIÃO NIKKEI LTDA.
Rua da Glória,332-Liberdade
CEP 01510-000-São Paulo-SP
Telefone: (11) 3340-6060
Fax: (11) 3341-6476
Site: www.nikkeyshimbun.jp
Facebook:www.facebook.com/nikkey.shimbun
Diretor Presidente:Raul M.Takaki
Jornalista Responsável:
Takao Miyagui-MT 15.167-SP
Redator:Masayuki Fukasawa
記事に関するご意見 Redação:
redacao@nikkeyshimbun.jp
配達・購読契約に関する連絡 Assinatura:
nikkeyshimbun@yahoo.com.br
広告に関する連絡・問い合わせ Publicidade:
anuncio@nikkeyshimbun.jp
Periodicidade:Terça-feira à Sábado
Preço Assinatura:
R$ 790,00(Anual) / R$ 420,00(Semestral)
Assinatura Digital(PDF):
R$ 330,00(Anual) / R$ 170,00(Semestral)